臺灣日日新報

優渥なる勅語賜ふ
第八十四議會開院式

【東京發】大東亞の總力を決戰完遂の一點へ集中すべき第八十四帝國議會開院式は二十六日貴族院本會議場において嚴かに擧行された、畏くも
天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り、
天皇陛下には貴、衆兩院議員に對し優渥なる勅語を賜ひ、一同は有難き聖旨を拜し深く感激、現下の重大時局に處する責務を痛感すると共に、誓つて決戰完遂の任を果さんことを固く誓ひ奉つた
天皇陛下にはこの日御軍裝に大勳位並に功一級金鵄勳章各副章を御佩用、百武侍從長、松平宮相、蓮沼侍從武官長以下側近奉仕の下に御自動車にて午前十時四十分宮城御出門、貴族院に行幸あらせられ、松平貴族院議長の御先導にて諸員奉迎裡に一旦便殿に入御、暫時御少憩の後御先着の各皇族殿下と御對面、次で東條首相以下各國務大臣、原、鈴木樞府正副議長各顧問官並びに松平、岡田、佐々木、內ヶ崎貴衆兩院正副議長などに拜謁仰せつけられ同十一時貴族院本會議場に臨御あらせられた、斯くて東條首相は恭しく御前に參進して勅語書を捧呈
陛下には勅語書を御手に玉音朗かに優渥なる勅語を賜ふた、次で松平貴族院議長は御前に參進、謹んで勅語書を拜受して退下こゝに第八十四通常議會開院式は滯りなく終了
陛下には諸員奉送裡に同十一時十五分御發御、天機いと麗はしく還幸あらせられた

【東京發】二十六日第八十四議會開院式に方り賜りたる勅語左の如し

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕カ外征ノ師ハ懸軍萬里沍寒ヲ凌キ炎熱ヲ冒シ勇戰奮鬪愈々其ノ威武ヲ發揚シ朕カ銃後ノ臣民亦克ク艱苦ニ堪ヘ生產ニ勤メ齊シク奉公ノ誠ヲ致セリ而シテ帝國ト友邦トノ盟約ハ益々固キヲ加ヘ興亞ノ大業日ヲ逐ヒテ進ム朕深ク之ヲ悅フ今ヤ彼我ノ攻防愈々急ニシテ戰局最モ重大ナリ宜シク億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ敵國ノ非望ヲ粉碎スヘシ朕ハ臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戰ノ目的ヲ達成セムコトヲ期ス
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和十九年度及臨時軍事費ノ豫算案ヲ各般ノ法律案ト共ニ帝國議會ニ提出セシム卿等能ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ盡サムコトヲ望ム

御英姿咫尺に拜す
森嚴の氣滿つ決戰議會

【東京發】帝國の重大國策を最終決定すべき第八十四帝國議會開院式は二十六日午前十一時から　畏くも
天皇陛下の行幸を仰ぎ奉つて貴族院に擧行された、燃え立つやうな緋の絨氈の外には何一つ飾りらしいものとてないがこの日行幸を仰ぎ奉る議場は早くから莊嚴の氣が滿ち滿ち　聖にして神々しき中で隙間もなく埋めて開院七百議員は異常な緊張に身を包ませつつ陛下の御臨幸を今や遲しと御待ち申上げる、定刻五分前議員起立、寂として物音一つ聞えぬ嚴かな靜けさの中に陛下の崇き御姿を今咫尺に拜し奉らんとする感激のみ、まことに日の本に生を享けし者ならでは想像もなし得ぬ境地である、正面勅任官席に立ち並ぶスターマー獨大使、テー・モンビルマ大使等も友邦日本の精神の根源を極めんとするが如く目を瞠つて謹拜する、さきの臨時議會は決戰國內諸體制の整備強化を中心に開かれたがそれより僅か二箇月も經ぬ今日ではあるが時局は既に目まぐるしき迄に進展し、日本を中心とする大東亞共榮圏の建設は日を逐つて完成し、決戰の爲め相倚り相扶けて敵國の非望破碎に一路邁進しつつある、だがその秋こそ敵の反攻もいよいよ熾烈、陸に、海に、文字通りの激戰が展開され皇國の存亡を賭すべき決勝の秋は刻々に迫つてゐる、つひこの間までは議席を並べた同僚の幾人かは既に戰陣の下にあり、參列の七百名議員の胸には異常な決意の色が見えるのだ、玉座に向つて右の扉を排して東條首相以下各閣僚、前官禮遇者等が入場、恭々しく玉座に最敬禮を捧げる座に畏くも御英姿を咫尺のうちに拜し奉つたのである　陛下には全員再び最敬禮の裡に玉音朗々勅語を賜はつたのであるが、懸軍萬里、沍寒を凌ぎ炎熱を冒し[illegible]勇戰奮鬪する前線將兵はもとより勝ち拔くための銃後一億の上にも普しく　聖慮を垂れさせ給ふ大御心には全員悲壯感激として粛なき裡に億兆一心、敵米英の非望を粉碎、叡慮を安んじ奉らん事を強く強く誓ひ奉つたのであつた、かくて松平貴族院議長恭々しく御前に參進、勅語を拜受して退下、一同最敬禮の裡に　聖上には御機嫌麗はしく御退出遊ばされ、ここに決戰下帝國議會一段と深き決意の開院式は滯りなく終了したのである

有難き聖旨に感激

【東京發】畏しも
天皇陛下には二十六日第八十四帝國議會開院式に臨ませられ貴衆兩院議員に對し優渥なる勅語を賜はり決勝の年を迎へて聖戰完遂に邁進しつつある一億國民の勵むべきところを御明示あらせられた、卽ち
陛下には特に
今ヤ彼我ノ攻防愈々急ニシテ戰局最モ重大ナリ宜シク億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ敵國ノ非望ヲ粉碎スヘシ
と國家の總力を擧げて敵國の非望を粉碎すべき旨勅語あらせられ、更に外征の將兵に對しては
朕カ外征ノ師ハ懸軍萬里沍寒ヲ凌キ炎熱ヲ冒シ勇戰奮鬪愈々其ノ威武ヲ發揚シ
との御言葉を賜はると共に銃後にあつて日夜生產增強に努めつつある國民に對しては
朕カ銃後ノ臣民亦克ク艱苦ニ堪ヘ生產ニ勤メ齊シク奉公ノ誠ヲ致セリ
との有難き御言葉を賜はつた、[illegible]より一億國民は[illegible]起しない者があらう、前線にある將兵は愈々身を鴻毛の輕きに比し大君の爲めに身命を捧げまつらんことを誓ひ、仇敵殲滅に益々奮勵すべし、銃後國民亦あらゆる努力を結集し、この有難き聖旨に副へ奉るべく誓ひ奉つたのである

"瞳に沁る感激覺ゆ"
岡田衆議院議長謹話

【東京發】二十六日開院式に賜りたる優渥なる勅語に對し岡田衆議院議長は恐懼感激して左の如く謹んで語つた
天皇陛下には國務御多端の際にも拘らず玉體益々御健かに玉座に御親臨遊ばされ、玉音朗朗議場に徹するの御勅語を下し賜ひ、我々は眞に瞳に沁みる感激を覺え、思はず熱淚に咽んだ次第である、御勅語を拜するに皇軍の勇武を御嘉尚遊ばされるとともに全國臣民の艱苦に堪へ生產に勵めることを御賞揚遊ばされた、卽ち勅語は獨り我々議員のみに下し賜つたものでなく、實に一億國民に下し賜つたものと思はれるのである、更に興亞の大業日を逐ひてその地步を堅めつつあることをお喜び遊ばされ、更に彼我の攻防愈々急にして戰局最も重大なりと仰せられてゐる、かくの如くして億兆その總力を擧げて國家に貢獻し、敵國の非望を粉碎せよと宣はせられたのであつて陛下が我々臣民の忠誠勇武に御信倚あらせられる御言葉を拜して億兆誰か感奮興起せざる者あらんや、御勅語に對し「有難い」「勿體ない」と申し上げる以外に申しやうのない次第である

衆議院勅語奉答文

【東京發】衆議院勅語奉答文

恭シク惟ルニ
車駕親臨シテ茲ニ第八十四回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス顧フニ皇軍忠烈倍々威武ヲ揚ケ國民奉公愈々至誠ヲ致シ興亞ノ大業將ニ成ラムトス是レ偏ニ
陛下ノ稜威ニ頼ラスムハアラス今ヤ戰局最モ重大ナリ臣等謹ミテ
聖旨ヲ奉體シ擧國一體總力ヲ盡シテ敵國ノ非望ヲ粉碎シ速カニ聖戰ノ目的ヲ達成セムコトヲ誓フ臣等愼重審議協贊ノ任ヲ完ウシ以テ上
陛下ノ隆恩ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ副ハムコトヲ期ス衆議院議長臣岡田忠彥誠恐誠惶謹ミテ奏ス

奉答文を奉呈
貴衆兩議長參內

【東京發】二十六日第八十四議會の開院式に畏くも貴衆兩院に對し開院の勅語を賜はつたが、兩院においてはそれぞれ勅語奉答文を可決、松平、岡田貴衆兩院議長は二十七日午前十一時二十分宮中に參內
天皇陛下に拜謁仰せつけられ勅語奉答文を奉呈することとなり、二十六日宮內省から左の如く發表された

宮內省二十六日發表
貴族院議長侯爵松平賴壽、衆議院議長岡田忠彥は帝國議會の勅語奉答のため二十七日午前十一時二十分
天皇陛下に拜謁仰付けらる

月曜摘錄
迎春の準備
勝つまでは安逸無し

[illegible]なる戰時下、忽忙の裡に今年も亦暮れやうとして居る。そして、數日後は早くも昭和十九年の新春を迎へる。この春を迎へるの準備とは、月並に門松を立て、餅をつき、酒を整へるといふことでは無い。吾々一億はこの乾坤一擲の決戰下に於ける新年を如何なる心構へを以て迎へるべきかといふのである。假令戰時下でも、國民の氣持を暗くしてはならないと、特配なども行はれてゐるが、第一線の將兵、特に過般の玉碎勇士などのことを考へると、勿體無くて手が出ない。況してあの玉碎は、吾々銃後にも缺からざる責任があるのだ。何となれば、吾々の生產すべき物的戰力さへ敵に[illegible]的であつたなら、あの樣なことは避けられたであらうと考へられるからである。聖上に申し譯が無かつた。故に吾々はいまお正月どころでは無いのであつて、先づ自らの足らざるところを補ひ、以て將來に萬遺算無きを期さねばならない。

◇……◇

昨年十二月十一日は恐れ多くも天皇陛下には伊勢神宮に御親拜遊ばされたが、當時戰線にあつてこれを知つた將兵は、潔しとして己れの足[illegible]

[illegible]

衆議院本會議

【東京發】衆議院では二十六日開院式終了後、午前十一時四十分より本會議を開會、岡田議長より開院式に臨み優渥なる勅語を賜はりたる旨を報告、勅語奉答文起草の件を諮り、青山憲三氏（石川）以下十八名の起草委員を指名した後、新議員茨城縣第一區選出中崎俊秀氏を紹介して同四十二分一旦休憩、午後零時二十分再開、勅語奉答文起草委員長秋田清（德島）氏から委員會の經過並に結果につき報告、奉答文案を朗讀した後、全員起立の裡に全會一致を以て可決、次で全院委員長の選擧は議長に一任とし、議長より牧野良三（東京）氏を指名、常任委員選擧のため同一時二十七分休憩、同一時五十八分再開、岡田議長より常任委員選擧の結果を報告、同二時五分散會した

【東京發】貴族院は二十六日開院式終了後、勅語奉答文案に關する[illegible]の外、全院委員長の選擧（議長一任）及び各常任委員選擧に關する本會議を開き、これを決定、各常任委員長も夫々決定した。而して今議會の中心議題たる昭和十九年度豫算案並びに增稅案の審議については特に愼重な態度に出づる必要ありとし、これが委員長には各會派共に部內の大物を起用する方針に決し、豫算委員長には[illegible]田俊[illegible]氏、增稅案特別委員長には勝正憲氏を充て萬全の運營を行はしめることとなつた

待機の姿勢で休會
多年の慣例破る決戰調

【東京發】第八十四通常議會は二十四日召集され二十六日開院式が擧行された　畏くも
天皇陛下には優渥なる開院の勅語を賜はつたが、特に彼我の攻防愈々急にして戰局最も重大なる旨を御諭示あらせられ、更に外征將兵の勇武奮鬪と銃後臣民の生產に努め奉公の誠を致せるを御嘉賞あらせられる[illegible]優渥なる勅語を拜し、諸員齊しく感激して至誠奉公の誠を致して聖戰完遂に邁進せん事を誓ひ奉つたのである、斯くて決戰議會の運營へ政府も議會も一[illegible]の決意を固めた[illegible]、この日衆議院では卽日本會議を開き勅語奉答文案の[illegible]議を行つて會期劈頭早[illegible]會多年の慣例を破る決戰調を示現した、卽ち衆議院は二十六日開院式終了後、午前十一時四十分初の本會議を開き、岡田議長から勅語奉答文起草委員を指名、起草委員長秋田清氏以下十八名の委員に依つて優渥なる勅語に奉答し奉るべく奉答文案を作成、これを本會議に諮つて滿場一致[illegible]

感謝決議案の說明に德川公

【東京發】二十七日の貴族院本會議に於て各派共同提案の下に全會一致議決すべき陸海軍に對する感謝決議案の提案理由の說明には各派を代表して德川家正公（火曜會）が當る事に決定した

案內所開店早々好評
傍聽席へ和やかな空氣

【東京發】「入口はあそこの立札のある所です」「御面會ですか、少々お待ち下さい」等女子係さんにやさしく教へられて議事堂を見ただけで何處が入口か[illegible]お上りさん達がほつと安堵の吐息を洩らす——これは衆議院が今議會から初めて設置した傍聽人案內所の窓口風景だ、いかめしいだけの議會から[illegible]早々却々の好評、小窗の中で案內者野村秀吉守衛長が女子係大用[illegible]の指導を[illegible]傍聽人が議會をもつと親しく理解するためと事務の簡素化の趣旨から案內所の新設に大木衆議院書記官長も大いに力瘤を入れて今議會から始めた仕事です、[illegible]

[illegible]

衆院豫算委員

【東京發】衆議院の豫算委員[illegible]左の如し
【委員長】[illegible]田俊[illegible]【理事】[illegible]
[illegible]中井川浩、野田武夫、秋田武[illegible]
[illegible]

擊墜破百四十八機
ビルマ方面　航空戰綜合戰果

【〇〇基地十五日發同盟】帝國陸軍航空部隊は十二月に入ると同時に五日には早くも雲を連ねてカルカツタを攻擊、事實上連續擊破すると共に英印軍を混亂に陷入れたのを始め、十日には印支國境の敵地トヘルツを攻擊した他テンスキア飛行場を攻擊し尨大な戰果を收めると云ふ獅子奮迅なる出擊を行つた、一方去る十一月中旬頃より敵は爆撃機聯合の戰隊を以て盛に來襲する敵機をラングーン上空に邀擊してその都度之を擊墜、我が方の戰果は燦然たるものがある、我空軍の斯かる十二月に入つてからの戰果は[illegible]毎に大本營から發表されたところであるが、南方軍は十二月五日より同二十二日迄に於ける之等航空戰に於てその後判明せる追加戰果を加へ、二十五日十四時左の如きビルマ航空戰綜合戰果を發表した、之により[illegible]に大本營より發表された戰果は[illegible]に多數の擊墜破が加へられた譯である

【南方軍報道部發表】（昭和十八年十二月二十五日十四時〇〇基地に於て）
一、ビルマ方面に於て米英軍の空よりの反攻は愈々執拗を極めつつあり、之に對し我が南方軍は十二月五日以來その航空部隊を以て之を邀擊すると共に進んで敵基地を攻擊、以て敵の空中よりする反攻を完全に擊碎しつつあり
二、十二月五日より二十二日までに得たる綜合戰果左の如し
（イ）攻擊戰果　擊墜炎上擊破百二十九機（內不確實二十七機）
（ロ）邀擊戰果　擊墜十九機
合計　百四十八機
三、此の間に於ける我が方損害自爆七機、未歸還十一機、合計十八機

國內展望
勝敗の岐路紙一重
緊迫感を常に念頭に置け

【東京發】敵米英のニユーブリテン島上陸により、今次大戰は依然異常な緊張を呈して來た、我が南方の最大據點ラバウルを敵に襲はせんとする所に彼の死物狂ひの決意がある、斯くて今ゆる增勢を、みぬ必死の猛攻に對して我々は斷乎鐵の意志を以て撥ね反し押切り、大東亞戰爭第三年の年を勝利を以て飾るのみである　この秋二十日タラワ、マキン兩島における鐵血陸戰隊の玉碎が發表された、忠四千五百の烈士を靖國の果に散らしめた時に限りない痛憤を感ずると共に「もう一機、もう一艦を」と戰線精神へ送るべき銃後の大いなる責務を痛感するのであるもう一機、もう一艦で全國民の奔流の如き決意は勝利の日まで續けられねばならない、國民生活は苦しくなつた、しかし頑張れ頑張つて頑張り通せ、東條首相が二十一日の全國地方長官會議において叫んだ通り勝敗の岐れ目は紙一重である、より多く苦しみ堪へ頑張り拔く者に勝利の榮冠が與へられる、それでは[illegible]になるか、日本帝國にとつて勝利は大東亞の指導國家であり新世界史の創造者である、そして敗北は敵國の揚言する如く三流國家への顚落を意味する
△航空戰力增強へ一路邁進、この戰は決勝の年の火蓋となつた、ニユーブリテン島マーカス岬の激戰[illegible]つと言ふ事は決して負けぬと言ふ事である、[illegible]ば戰爭をすると言ふ決意である、勝つ決意へ一億が[illegible]しく團結される時に敗北はない、[illegible]この號令も[illegible]この[illegible]である、[illegible]
[illegible]な施策を中[illegible]施中である、而もこの未曾有の國難に際會して國內態勢が未曾有の深さと幅において徹底的に建て直されるのは當然である、さきに國內態勢强化方策を決定發表して矢繼早に決戰施策を斷行し來つた政府は、何ものをも措いて必勝の道へ不斷の前進を續ける、その戰爭完遂の決意は二十一日の地方長官會議における東條首相の訓示の中に端的に表明せられた、首相は叫ぶ「この一年こそ帝國の隆替、東亞の興廢のみのる年である、而も必勝の鍵は吾々自らの手の中にある一億國民各々學生の力をくし、時の要求を常に念頭において[illegible]しく頑張り拔くならば勝利は必ずわれに歸する」眞に其通りである、首相は[illegible]叫ぶ「今日の吾々の[illegible]」[illegible]「航空戰力の增强を今すぐに」と斯くて吾々の進む道は明かにされた
△光榮の若人よ征け、明年より滿十九歲の者に對して徵兵檢查を施行する旨二十三日情報局より發表された、青少年の感激は[illegible]に餘りある、新世界創造の聖戰に參加する光榮はより早く若い世代に與へられねばならないのである、[illegible]に吾々の祖先は十五、十六の年に元服し初陣して戰場に[illegible]、さきに學生の徵兵猶豫が停止され[illegible]學徒は欣然[illegible]に突入した、學生も征け、若い青少年も征け「[illegible]」[illegible]神國日本に[illegible]を捧げたものの一人として[illegible]しない者はないのだ、[illegible]
十二日には教育に關する戰時非常措置に基く[illegible]が發表された、これらの[illegible]も平時ならば[illegible]會に一大衝動を與へよう、それが[illegible]のやうに斷行される所に今次大戰のすさまじさがある
△眞に時局を[illegible]せよ、決戰の年を正に迎へんとして二十五日第八十四通常議會が開會された、皇國の興廢を賭すこの決勝の年に政府は一億國民の先頭に立つて何をなさんとするか、それは今次議會を通して內外に闡明される百五十[illegible]一億臣民の明年度[illegible]四十五[illegible]法律案も着々[illegible]む政府の準備は[illegible]これに對して議員側も萬全の[illegible]を[illegible]へ[illegible]議會では二十二日本部[illegible]

[illegible]

全米鐵鋼總罷業か

【ブエノスアイレス二十四日發同盟】ニユーヨーク來電—鐵道網罷業に脅かされてゐる米國に今度は大規模な鐵鋼勞働者の罷業が勃發し、米國軍需生產の中樞たる鐵鋼工業は全面的に麻痺狀態に陥らんとしてゐる、卽ち米國鋼鐵勞働組合と各鐵鋼會社との賃金契約は二十四日夜半を以て滿了となり、その結果同組合所屬勞働者は契約滿了と共に續々罷業に入つた、オハイオ州だけでも四萬五千の勞働者が二十五日早朝から罷業に入つた、この爲め操業中止の已むなきに至つたのはクリーヴランドのリパブリツク[illegible]、ヤングスタウンのシート[illegible]その他[illegible]

【ブエノスアイレス二十五日發同盟】ワシントン來電によれば[illegible]

[illegible]

華中鐵道總裁
鄧洪年氏に決定

【上海二十六日同盟】華中鐵道では創立以來の社長制を去る昭和十四年總裁制に改めて以來總裁は空位の儘であつたが、今回國民政府時代の交通部次長であつた鄧洪年氏を初代總裁に推薦、同社[illegible]會を開催し正式決定する運となつた、鄧洪年氏は廣東省[illegible]の出身で、民國成立後交通部[illegible]、[illegible]鐵路局長、交通部次長を歷任、民國十三年[illegible]政府に入り[illegible]長、民國十六年國民政府南京に遷都と共に[illegible]部次長に就任、その後民國二十二年立法[illegible]

[illegible]

人事

△長田俊介氏（大使館參事官）二十六日來北（朝陽號）
△高原[illegible]雄州知事　廿七日[illegible]出府
△谷治郎氏（高雄州商業部長）廿七日來北（鐵道ホテル）
△久保成夫氏（航空局書記官）
△佐藤房吉氏（彰化銀行頭取）廿[illegible]南方へ
△三谷[illegible]太郎氏（臺灣セメント專務）[illegible]六日來北（鐵道ホテル）
△久富[illegible]行氏（日東支社總務部長）廿七日來北（朝陽號）
△[illegible]氏（高雄製鐵取締役）廿六日來北（鐵道ホテル）

特種動物精臓薬
心臓や胸の胃
の弱りに芯から力づける麝香や膃肭臍等の動物精臓の粹はホルモン醫學の發達につれて一層明かになりましたが、動物精臓の優れた點は、內臟への吸收同化が良く、動悸や息切れ、痰、ね汗等を取つて芯から力強い健康體を作つて行くからです。
內服藥「救心」は此の麝香や熊膽、牛黃、蟾酥其他優秀の特種動物精臓を配伍した效目の良い小粒藥で病を芯から力づけるので評判です。
心臓の病で苦しむ人
肋膜や肺のよくない人
胃弱で食慾の進まぬ人
心臓弱く動悸息切の人
ね汗で夜分ね苦しい人
救心
一粒
「救心」は、一週分二圓、二週分三圓五十錢三週分五圓で藥店百貨店にあり
進呈「[illegible]」（[illegible]
東京都[illegible]
發賣元　救心本舖

新太陽　新年號　四十錢
敵機を解剖する
陸軍航空本部第一課長
司令部中尉が語る最新情報
航空決戰の實相を把握せよ　陸軍航空本部　木下少佐
現地小說　飛行場の勤務　日比野士朗
鉛筆の手紙
試驗飛行
大林清
わが子を海鷲に！（對談）濱本浩　石井漠
戰ふ少年飛行兵の日記（六篇）
雛鷲となつた教へ子を訪ふ　小糸のぶ
東京・麴町　新太陽社

☆海軍の戰局讀物國民雜誌☆
文庫　新年號　四十錢（〒二錢）
航空大血戰
ブーゲンビル　大血戰
ブーゲンビル航空戰記
☆ラバウル航空戰記
☆南の島は初春すがた
島沖決戰と新春
指頭聲あり　海軍通信學校（訪問記）
小說　銃後　石炭
小說　甲鐵艦引渡
小說　海兵
咆哮戰艦
超音速と新兵器
陸軍[illegible]
十二月下旬發賣
東京　興亞日本社

人的戰力を保持增强
わが軍陣醫藥學に凱歌
戰爭第二年次の衞生成績回顧

【東京發】大東亞戰爭は一面衞生戰の連續である。衞生の面から見た戰爭第二年次の昭和十八年は前年より一層戰線の度を加へた、主戰場はソロモン、ニューギニア、ビルマのアキャブ方面及び支那大陸方面、アリューシャン列島、千島列島さては奧地支那大陸であつて何れも衞生的條件は不良であり未だ世界戰史に類を見ない戰場である。加ふるに空襲の激化は益々惡條件を添加してゐる。しかもその間にあつてわが皇軍衞生部員は一致團結生死を超越して輝かしい成績を擧げたのである。以下陸軍軍陣醫學關係の資料に基き戰爭第二年次衞生成績を回顧しよう

戰病は一日に 約〇・二四八パーセント、衞生成績には色々の見方があるが戰時に於ける衞生成績の良否を判斷するに最も重要な數字は戰病發生率及び除役率とである、といふのは戰傷患者に關する各種の比率は比較研究に困難な場合が多いからである、そこで戰爭第二年次の戰病發生率を檢討して見るにまだ正確な數字を擧げ得ないが目下の所平均一日新患者發生數一千人につき二・四七人程度となる見込みである、この數字はわれ／＼が預つてゐる廣大且つ困難を伴ふ作戰に比して頗る好成績といはねばならない、何んとなれば大正十五年から昭和五年に至る五年間の平時の戰病發生率二・四一五よりも僅に多い程度に過ぎないからである、今これを過去の主要戰役に比較して見ると

△日清戰爭 一〇、五四五△日露戰爭三、〇五六△シベリヤ出兵三、〇三三△滿洲事變一、八三五△支那事變二、二三五△大東亞戰爭二、四七〇

で今度の事變が滿洲事變について如何に好成績であるか判るであらう。次に作戰に於ける戰病に依る死亡率を概算して見ると〇・七〇パーセントになり戰病死の實數は戰死の實數の半分にも滿たないのである、これ又攻戰場の惡條件を思ふとき極めて好成績といはねばならない

戰病死に ついて過去重要戰役の成績を比べて見れば次の通りである

△日清戰爭 一三・八八パーセント△日露戰爭一・四五パーセント△シベリア出兵〇・八四パーセント△滿洲事變〇・七四パーセント△大東亞戰爭〇・七〇パーセント

次に戰病除役率の項目は相當の期日を經ないと明かにされ得ないので之は除き、參考のため作戰地に於ける戰病治癒率を概算して見ると現在の所八二・九パーセントといふ數字が得られた、これを過去の主要戰役と比較すれば次の通りである

△日清戰爭 四八・七パーセント△日露戰爭五・五七パーセント△シベリヤ出兵七四・五パーセント△滿洲事變八一・四パーセント△大東亞戰爭八二・九パーセント

固より大東亞戰爭の成績は後日多少改められる必要があるが尠くとも前記死亡率と共に劃期的と稱すべき良好の成績といへる。第二次歐洲大戰勃發以來既に四ケ年を經てゐるにも拘はらず目的が良心的な發表を各國とも嫌となされてゐないのは列國が世界に誇るに足る好成績を收めなかつた證據とも考へられるのであつてこの點列國と比較し得ない憾みはあるがわが

軍陣醫學の 榮光は燦として輝くであらう、以上戰傷患者についての成績を述べたがこの成果こそわが軍陣治療醫學のみならず軍陣衞生學、防疫學、病理學、藥學等の優秀性に基くのみならず卓越せる作戰衞生勤務運用の力に俟つものが頗る多いのであつてこれ等の綜合した力にこそ基礎が置かれるのである。右の內世界に誇ることには優れた軍陣治療醫學のみを見てもわが軍陣治療醫學第一線救護から內地陸軍病院に於ける治療、退院或ひは除役に至るまで整然たる體形が確立し、それに基いて傷病者の收容及び後送が的確に實施され傷病者の死亡率は著しく低下して治療成績は頓に向上し內地一部の缺損者と雖もその殘存機能を最大限に活用し再起奉公、銃後の增產に立派に活動してをり全くの不具廢人者は絕無といつても過言ではない。滿洲事變或ひは支那事變以來わが衞生部員の奮勵なき努力は

幾多の功績 を現はしてゐるが就中マラリア、ガラアザール、デング熱、流行性出血熱、森林ダニ、腦炎、コレラ、赤痢その他の傳染病の診療に關し世界に燦たる業績を生み出してゐる。例へばマラリアに就いて見るにガラパマラリアの新檢査法、同じく原蟲集法、同じく治療劑の完成等を始めとしてマラリアの豫防方面から治療方面に至る專門分野にかける新發見、新創意は枚擧に遑ない、又ガラアザール、デング熱その他に關してもその診斷法或ひは病源に於て世界に始めて宣明せらるるや直ちにその豫防法、治療法が完成し將兵の受ける福利惠いては戰力に及ぼした偉大なる功績は測り知れぬものがある。これ等こそ軍陣醫學の貢獻すべき長足の進歩と共にわが陸軍軍陣醫學の世界に於ける飛躍である、大東亞戰爭第二年を迎へるや野戰衞生長官は衞生部員に

一、人的戰力の保持增强

一、防疫の徹底

一、治療の完璧

の具體方針を示した。この方針に從つて衞生部員擧げて着實に邁進し努力した結果が以上の樣な成果を實現したのであつて、現代の戰爭は科學と科學、技術と技術の

戰爭である、わが軍陣醫學ひいてはわが科學技術に於ても敵米英を遙かに凌駕し

床界に冠絕 せる進歩を示し同時に衞生成績の優秀なる點でも米英をして瞠目驚歎せしめてゐるのである

日本へ無限の信頼
國民の士氣愈々昂る
河野氏　戰ふ獨逸の近況語る

【滿洲里二十五日發同盟】大久保公使とともに歐洲から歸國の途にある河野密太郎氏は二十五日國際列車でハルビンに向つたが、歐洲戰とドイツの必勝態勢及び風雲バルカンに於けるドイツの不動の地位につき左の如く語つた

今度の世界大戰に於ける戰爭は驚くべきものがある、ドイツの各地を廻つてみると青年隊とか親衞隊とか勤勞隊とかに屬する青年が澤山見受けられる、兵力が消耗してゐるとか人的資源が下り坂であるといふのは敵の宣傳でこれは全くの嘘である、ドイツの士氣は愈々昂まつてゐる

農村問題 今度の戰爭は七年續きの戰爭と云つてゐる通り勝つか負けるかといふ生やさしいものではなく生存か滅亡かの戰である。このことはドイツ國民によく徹底して國民は前線銃後を問はずよく戰つてゐる、こちらに歸る前に農村を視察したが實に徹底した戰時態勢で日本に比較すると獨下の農人口を賄ふのに四割の農民が必要なのにドイツでは僅かに二割の農民でこれをやつてゐる。一例を擧げると食事のときでも全員が休むことなく二組に分れ一組が休んでゐる間に一組が仕事をするといふ徹底振りで農村すらかくの如き狀態だから軍需工場に於ける緊張振りは驚くべきものがある

食糧問題 ウクライナの陷落で經濟的に多少の影響は考へられるが本年はドイツ國內殊にバルカンは大豐作であつた、その後の風景は素晴しいものがあつた、ドイツ國內に於ける食糧の配給狀態も非常に圓滑で最近ではビールも多量に出て行列買なども見當らない、バルカンを通過する間も物資は豐富、ドイツ國內の經濟的底力が窺へた

空襲と國民の士氣 米英の空襲も最近激化の一途を辿り十一月二十三日のベルリン空襲は相當の被害を與へた、然しベルリンは八月二十三日の空襲以來[illegible]人口疎開をしてしまつたので[illegible]、生きるか死ぬかの戰爭に[illegible]防空は嚴然さ[illegible]に[illegible]、ドイツでは都市疎開は國家的に[illegible]女子は全部[illegible]

ドイツの[illegible]軍需工場も現在では[illegible]地方に分散せられ特に必要な[illegible]工場は地下室で作業を續けてゐる、又[illegible]された工作機械も[illegible]多量に生産されてゐる、一方ではやられても一方で仕事をしてゐるので生産力は敵の宣傳するやうに低下してゐない

日本に無限の信頼 日本の重なる大戰果にはドイツも氣をよくし我が事のやうに喜んでゐるが大本營發表の大戰果は何時でも各新聞のトップに掲載されドイツ國民に多大の感銘を與へてゐる。特に忠誠の活躍と盡忠の精神にはドイツ國民も驚嘆し盟邦日本への信頼感を愈々深めてゐる

風雲のバルカンとドイツ 米英の[illegible]を削る策謀により最近のバルカンは風雲をよんでゐるがドイツの强力なる武力が依然としてバルカンに頑張つてをり[illegible]

八十四議會に女子勤勞奉仕隊

—寫眞は議事堂に集る奉仕隊員—【電送】

花蓮港奉壯團の結成記念式

【花蓮港電話】奉公運動の中核體として挺身して來た花蓮港市奉公壯年團の結成一周年記念式は二十五日午前十時より團旗を先頭に西村團長以下全團員花蓮港神社に正式參拜、廳奉公會支部長、船田皇奉支部主事外來賓多數參列して結團祭を執行、そのち記念式を擧行、國民儀禮、西村團長の挨拶、廳奉公支部長より激勵の訓辭、廳元警長の祝辭あつ[illegible]

國防獻金

【基隆】基隆市[illegible]町一ノ三王[illegible]ナ（[illegible]）さんは一人息子の義男君を[illegible]として軍[illegible]に送つた後獨りで[illegible]つてゐるが、今回[illegible]を"私すべきでない"と五十圓を國防獻金に、三十圓を防火群の用水池費として[illegible]へ、二十圓を[illegible]氏の供[illegible]としてそれぞれ獻金寄附したがツナさんの奇特な行爲は附近の人々を感激させてゐる

[illegible]

掘出せ！黑ダイヤ
基隆炭礦　全山一心目標突破へ

【瑞芳】基隆炭礦の[illegible]に燃えて今や本島の全礦山は一塊の石炭も一噸の黑ダイヤもより以上より多く掘出し戰力增强へ挺身しようと日夜の區別なく敢鬪してゐる時本年十月より展開された戰時非常石炭增産期間も愈々明年三月までの期間中のなかばに達し然も明年度第一坑、第二坑では本年最後の戰鬪を發揮して掘り出せ、掘出せと全山擧げて[illegible]一心一體となつて目標突破へ努力を注いでゐるが、なかでも第二坑では目標突破のため坑內班、宣傳班、工作班、坑外班、訓練班の各班が

一、安全運動の徹底化

二、缺勤防止運動の徹底化

三、能率增進運動の徹底化

四、資材愛護運動の徹底化

五、健民運動の實現化

六、緊急應急訓練

の六項目を掲げて鈴木坑長陣頭指揮の下に目標突破の好成績をあげてゐる【寫眞は目標突破宣傳ポスター】

高木友枝氏

【東京支社電話】元臺灣總督府醫學校長、同中央研究所長、臺灣電力初代社長たりし高木友枝氏は去る二十二日午後九時腦溢血のため世田ケ谷區北澤二ノ一の自宅にて急逝した、享年八十六、葬儀は故人の遺言により近親者のみにて廿六日告別式を行ひ、埋骨式は

新竹州藥劑師會を創立

【新竹】臺灣藥劑師令に基き新竹州に於ても新竹州藥劑師會を創立することとなり二十七日午後一時から州第一會議室に於て之が第一回創立總會を開くこととなつたが、當日は香川長官田崎近一氏の經過報告に引續き議長選任、議事、會長任命などあつて府より黑柳博士の講演に移る豫定になつてゐる、なほ會長は臺灣奉公藥劑師會新竹支部長の鈴木和三郎氏が任命される模樣である

州議補缺に宇田榮氏が當選

【基隆】基隆市に於ける臺北州會議員補缺選擧（缺員一名）は二十四日午前九時から基隆市役所會議室に於て行はれた結果宇田榮氏に當選決定した

師魂鍊成

【新竹】決戰第三年への突入に當り一般指導者層の頭の切替へが強く叫ばれてゐる秋、新竹州では次代の小國民の育成に重責にある州下國民學校長並に各市郡視學に確固たる師道精神並に決戰即應の青少年教育全般に亘る理念と實践力を昂揚すべく來る二十八日より三十一日まで年末をよそに百五十名を招集、州立松嶺道場に於て州下國民學校長鍊成會を開催することとなつたが成果は頗る期待されてゐる

徵兵制の主旨徹底

【花蓮港電話】我等が父母に有難い徵兵制度實施の感激を呼びかけんと花蓮港市第六區青年團では秘話部氏を織り込んだ演劇『臺灣の兵』『兵の道』の舞踊、國語等を二十二日臨花蓮港市太洋館にて開催したが燃ゆる情熱を傾けた若人の演出だけに第一日目は滿員の盛況さで素晴しい好評を博した

臺北で遙弔式

元總督府醫學校長、同中央研究所長、臺電初代社長高木友枝氏は前項の如く二十三日東京に於て逝去したるに付臺北に於ける告別式と同時刻の二十八日午後二時市內幸町基督教會において遙弔式を擧行することとなつた

瀨戶山兼斌氏

臺北市會議員瀨戶山兼斌氏は臺北市川端町二一三の自宅に於て療養中のところ廿五日午後五時永眠した、氏は大正八年臺灣總督府囑を拜命、昭和二年地方理事官湖山、旗山、中壢郡守を經て退官、同十年第一回民選議員に當選以來市政發展の爲貢獻した功績は多大なるものがある

第二放送

◇七・〇〇 新しき大東亞の胎動消息…大東亞錬成院錬成官高瀨[illegible]介

◇〇・二〇 浪曲「[illegible]」…春風亭柳枝、管絃樂…一、寒月他…ミクュ管絃樂團

◇一・〇〇 管絃樂（音盤）寶塚組曲「美しきドナウ」

◇六・〇〇 少國民の時間、シンフン、物語「樹林を突破した不屈の荒鷲魂」…寺山弘

◇六・三〇 地方だより…森田俊介

◇七・〇〇 第八十四議會に於る東條首相、嶋田海軍大臣の演說報告、吹奏樂、行進曲「大政翼贊」他…皇國吹奏樂團

◇九・〇〇 ベルリンより（錄音）ドイツ通信

◇九・二〇 管絃樂（音盤）（臺北）交響曲九十六番ニ長調

◇[illegible] を大破した不屈の荒鷲魂…寺山弘

◇六・二〇 教師の時間"國力の充實と理科教育の根源"…臺北工業學校教諭教諭可兒英雄

◇六・五〇 みんなでうたひませう"一月一日"（文部省唱歌）…指導三浦とみ子

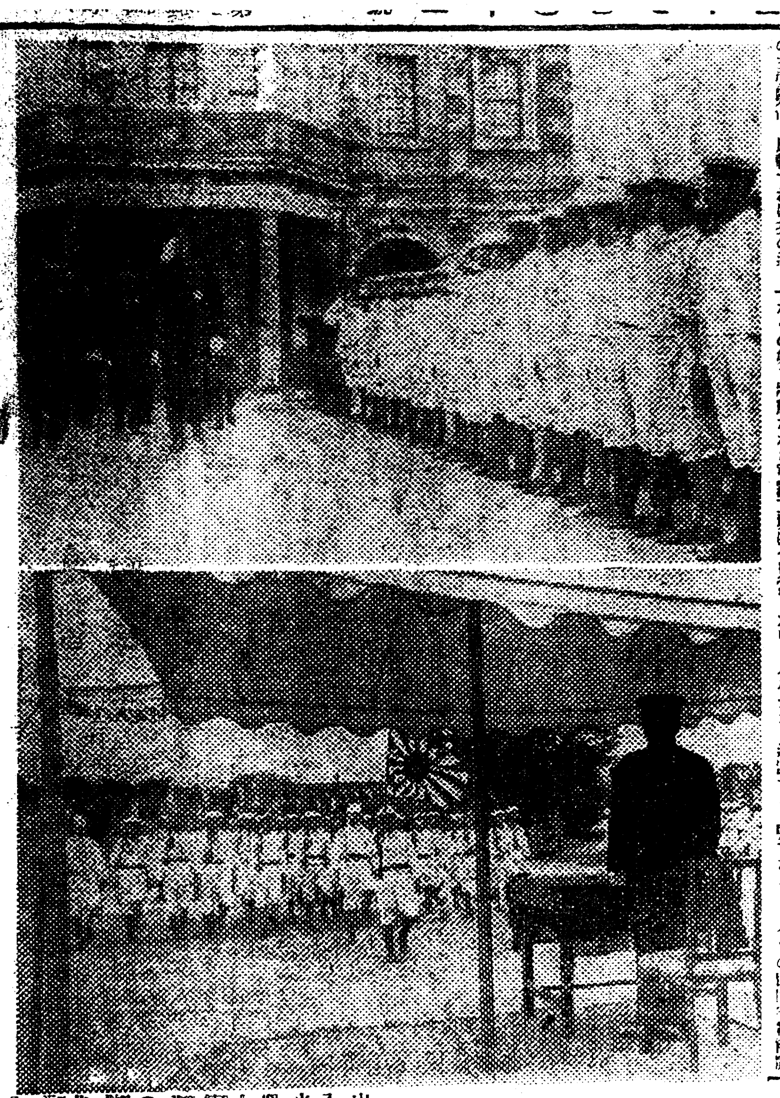
◇七・四〇 青年の時間"神國日本青年の進路"…臺灣神社宮司田村靖雄

◇八・〇〇 軍事の話（臺灣語）"金鵄勳章に就て"（[illegible]川敬一氏發表）…奥放送員

◇八・二〇 初等國語讀本及講座（三〇頁日の丸）

◇八・四〇 話（臺灣語）"強く明るく"…皇民奉公會中央本部生活部參事元田[illegible]

◇九・〇〇 器樂合奏（音盤）ヴァイオリンとオーボエとホルンの爲の協奏曲第一番ヘ長調（バッハ作曲）



福田司令長官

巢立つ海洋訓練隊員查閱

臺灣警備府司令長官は二十四日午後二時半山本皇奉事務總長の東道により二十六日畢業式を擧げて巢立つ臺北市圓山皇奉海洋訓練隊の查閱を行つた、入隊以來海に生き海に死なんと鐵火の如き訓練に邁進して來た第四期生九十九名は長官の査閲に感激しつつ神山の水兵服も凛々しく訓練隊舍前に整列、先づ隊長菊池海軍大佐から現狀報告あつて諸兵の後隊員は若裝束も勇ましく樋口一曹の指揮刀一閃、旭日の隊旗を先頭に福田司令長官の前を步武堂々と分列行進を展開、終つて短日月とも思はれぬ手旗で手旗信號、元氣溌剌たる海軍體操を演じまた防空訓練を實施したが最後に福田司令長官は隊員を前に一場の訓示をなし

短日月のうちにかくも立派に諸訓練が出來ましたことは隊長以下教官の適切熱心な指導もあるとはいへ諸君が海國日本の青年としての誇りに目ざめ努力した賜物によるもので眞に歡びに堪へるものである、諸君の顏色には米英撃滅の氣魄がみち溢れ、胸の中は愛國精神にたぎつてゐるのだ、どうかこの訓練隊を巢立つた後も健康に留意し十分に精進を重ね素晴らしい成績をあげる事を期待して止まない

と懇篤に隊員を激勵し查閱を終了三時半全隊員の感激裡に同所を出發した【寫眞は福田司令長官の海洋訓練隊員查閱】

海の決戰場へ
きのふ第四回修了式

悲壯熱烈なる海の決戰場へ乘出す若人達の心と腕を鍛へ上げる皇奉海洋訓練隊の第四回修了式は二十六日午前十時半より市內圓山の同訓練所にて盛大に擧行された、來賓として陳岡、濵本報道部長をはじめ山本皇奉事務總長、森田府海務課長、戶田船舶運營會臺北監督外數名、南日本汽船、東亞海運、大連汽船各支店長等が臨席、定刻國民儀禮あつて、修了生九十九名に對する修了證書授與並に賞品の授與にあり優等生池本四郎君一同を代表して之を受領、次いで隊長菊池海軍大佐は過去四箇月間の訓練を基礎にして終始自己の錬成に心懸け、國家非常の此の際己れの本分を盡して御奉公せよ

と諄々たる訓示を與へ修了生一同に多大の感銘を與へた、續いて森田府海務課長、戶田船舶運營會の各來賓より夫々祝辭あり、之に對し隊員田井作員君は一同を代表して

生等の今日あるは偏へに教官並に各先輩の御教示の賜で寔に感激に堪へない、今後は命ぜられた各職域に於て粉骨碎身國家に御奉公する覺悟である

と烈々たる答辭を述べ最後に一同海征かばを奉唱して同十一時半終了した、尚今期修了生（前期六名を含む）の就職先は左の通りである

△マニラ三十五名△スラバヤ十五名△昭南三十一名△大阪商船五名△南日本汽船五名△高雄海軍軍需部十名△訓練隊助手三名

福田高雄警備府長官
隷下各部隊の初度巡視終る

福田高雄警備府司令長官は臺灣における隷下各部隊初度巡視のため二十二日午後三時二十分江藤知事より三時三十分に至り圓山皇奉海洋訓練隊に於て決戰下の海へ進まんと日夜精進する本島海の若人の群を視閲し大いに激勵するところあつた、次で二十五日朝は基隆海軍武官府を巡視し本島北門の守りにつき詳細報告を聽取し會北、南進兵營の重責に日夜精勵する隷下各部隊の[illegible]、水崎市長以下官民多數の出迎を受けて來新、直ちに新竹神社に參拜の後關係各方面を視察、續いて二十三日午後四時四十九分臺北驛列車で着北二十四日午前九時三十分臺北海軍武官府に於て同大佐より事務狀況の報告を受けた後同十時車を驅つて淡水方面に赴いた、更に正午よりは鐵道ホテルに於て安藤軍司令官以下官民百合川[illegible]、[illegible]列車で[illegible]した

煙草・全面的に値上げ
府專賣局・けふから實施

戰局の[illegible]に[illegible]を[illegible]する[illegible]、[illegible]一般購買力の吸收、購入の增加及び消費の抑制を圖り以て戰時財政の強化を期し[illegible]に[illegible]、[illegible]十二月二十七日より價格を改[illegible]することに決定し本日付[illegible]上申五二%で本[illegible]の大中値上げである

佐治專賣局長談 戰局の緊迫重大化せるに即應し、戰時財政の强化を期する政府では增稅を企圖しつつあると共に今回煙草の値上を行ひ一般購買力の吸收、購入の增加及び消費の抑制を圖り、決戰態勢の强化に資することとになつたので本府でも同趣旨の下內地と相呼應し、本日官報告示の通り煙草の値上を決定發表した大綱である。今回の改正は煙草の値上率五二%といふ本府としては曾て無い高率の値上ではあるが右目的達成上及內地朝鮮との均衡上已むを得ない所であつて島內の供給はその必要なる最少限度に抑制し以てこれが餘力は戰地並に南方諸地域に振向けたいと考へる次第である、尚今回の値上による實例人及び小賣人の手持品差益金は「臺灣煙草專賣規則」の改正に依り之を政府に納付せしむる豫定である

定價値上額

品名	區分	値上額	新定價
敷島	一〇本入	三五	一、〇〇
朝日	同	二五	七〇
椿ま	同	一〇	三三
れ	同	一	七
白梅	二〇本入	五〇	一、五〇
あやめ	同	二五	七五
桃山	一〇〇	二、五〇	八、〇〇
同	五〇	一、二五	四、〇〇
ニカヒ	一〇本入	三六、〇〇	一〇、〇〇
タバコ	五	三、〇〇	一〇、〇〇
ラスボ	五	八、〇〇	二四、〇〇
ノーマ	五	一、六〇	四、八〇
コーノ	一〇	二、四〇	七、〇〇
トンダイ	同	二〇	六〇
白鷺	同	八	一三
曙	同	四	一二
日の出	同	一	四
もの出は	同	三	五〇
白菊	五〇入	三二	一、〇〇
水仙	同	二二	七〇
玉蘭	同	一五	五〇
日の丸	同	三	一〇

臺日案內

石堂　一月八日新學期生徒募集　洋裁學院臺北若竹町[illegible]

遠藤　洋裁速成科自由科夜間一月八日開講　臺北市京町[illegible]

アザミ　洋裁專門研究所　臺北昭和町[illegible]

運轉　手募集希望者は履歷書持參本人來談　基隆消防組

齒科　衞生保用本人面談　榮町三丁目青木齒科醫院

電話　讓渡し御希望の方は七五八番へ　有士

新案　折疊椅子レーザ張り在庫品あり御希望の方　多々美椅子專門店　電五九七五番

遊室　を有利に他に一部御住しに成れば當家も御用心棒にもなる人も宜よ

出張　中とか小人數で御家が留守がちの御家庭へ一間でも貸して下さい新起町・金丸

KI　臺北市榮町二　フタバ寫眞部

ラジオとレコード　臺北建成町　電三三四八　東亞堂

蓄音　器・ラジオ・蓄電器修繕及改造　板橋街市場通り　東華電氣商會

結婚　調查迅速正確　大和町三　全國支所　帝國興信所臺北支所

轉宅　運搬　荷造小荷物　旅行荷物　三光運送

陸上　運搬荷造引越　國防ピール會社向へ　電九七〇五番

荷造　配給手續の引越　住宅に困る方も　共榮組へ

のせ　古衣　不用品　のせ京染店　電七五四二

メガネ　專門　臺北市本島前商銀前　和田メガネ店　電六一五〇

特許　商標　辯理士　臺北市龍口町三ノ十　岸事務所

斷食　詳細は御一報次第送呈す　臺北市水道町　臺北第一斷食寮

植木　防空綠化生垣用　臺北市川端町　福本農園

衣類　お入用の方はお問合せ下さい

防空　壕　家庭防空

今日の映畫

國際館　大東亞映畫館　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　太平館　第三世界　新世界　臺北劇場　大世界

新竹の映畫　有樂館　新竹劇場　基隆劇場

臺北州合同興行會社　昇平座　宜蘭座　羅東座　大和劇場　旭劇場　基隆世界館　中央劇場

29日マデ　日本ニュース[illegible]

[illegible]

滑空機組立工員見習募集

一、採用人員　十五名

一、採用條件　年齡十五歲以上ノ男子ニシテ成ル可ク國民學校高等科卒業以上ノモノ

一、勤務地　臺北市[illegible]町臺灣航空協會滑空機工場

一、待遇　[illegible]

一、募集締切　昭和十八年十二月三十日

右希望者ハ臺北市書院町遞信部構內臺灣航空協會ヘ履歷書持參ノコト（目下定員認可申請中）

臺北市書院町二ノ一

財團法人　臺灣航空協會

働く女性を求む

勝つ爲に働きましやう！たつた今から身近かで働ける職場で國策宣傳啓發の第一線を受持つ當會社の事業に理解ある女性を望む

女學校卒業程度の方又は經理事務經驗者

御希望の方は履歷書を左記宛お送り下さい

締切十二月三十一日迄

面會日通知致します

臺北市西門町一ノ三

臺北州合同興行會社人事課

急告

時局ニ即應シタル

臺灣羽毛輸出振興株式會社ノ羽毛ニテ

古着利用

羽毛布團製作引受所開設

一、掛蒲團ニテ羽毛五六百匁位

一、敷蒲團ニテ羽毛一貫貳百匁位

一、古蒲團綿一枚分ヲ打直セバ三枚作レマス

一、中包ノ袋切レハ持合セノ浴衣、羽織、襦袢、シャツ、ワイシャツノ古イノデ充分ニ使用出來マスカラ至極經濟デアリマス

一、御仕立ハ御注文ニ應ジテ致シマスカラドシ／＼御申越シ下サイ

一、特徵ハフワフワシテ固マルコトナクテ寢心地ガヨイ保溫力强大至極ク輕クテ溫イ事天下一品ナリ

羽毛蒲團製作申込所

臺北市榮町三ノ三　藤井吳服店

基隆市義重町二ノ三　富元吳服店　電一一四番

[illegible]取締役[illegible]療養中ノ處十二月[illegible]日[illegible]永眠致サレ候間此段謹告仕候

[illegible]株式會社

當組合長瀨戶山兼斌殿療養中ノ處十二月廿五日午後五時永眠致サレ候間此段謹告仕候

高砂油生產組合

父從六位勳六等市會議員瀨戶山兼斌儀病氣療養中ノ處二十五日午後五時死去致候間生前ノ御厚誼ヲ奉謝シ此段謹告仕候

追而葬儀ハ二十七日午後[illegible]於テ相營ミ申候

臺北市川端町二一三

男　瀨戶山安邦

妻　ヨシ

親族代表　古島精巧

友人代表　廣谷致員

安田勝次郎

則松榮吉

鹿兒島縣人會代表　尾辻國吉

川端區長　戶村素平

從三位勳二等醫學博士高木友枝儀十二月廿三日午後九時腦溢血にて急逝致候葬儀は故人の遺言により近親相寄り廿六日相營申候茲に生前の御厚誼を深謝し御通知に代へ此段謹告仕候

追而靈前の儀は來る廿八日午後一時自宅出棺多磨墓地にて相營申候

昭和十八年十二月廿七日

東京都世田ケ谷區北澤二丁目一番地

妻　高木美都

親戚總代　津寺規四

次男陸軍兵長土屋正樹儀本年二月二十八日戰死致候ニ付生前ノ御愛顧ヲ深謝シ此段謹告候也

追而告別式ハ十二月二十七日午後四時ヨリ於自宅神式ニ依リ相營申候

臺北市錦町一五〇番地

母　土屋うた

親戚代表　阿部小太郎

國際電氣通信株式會社

瑞芳支社長　黑木彌千代

世話役　力田亮行

會葬御禮

友松ヤエ

友松二郎

父實儀老病ニテ十二月二十五日後十時半死去致二十七日午後四時於壽町光倉寺ニ葬儀執行仕候間生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ旁々御通知申上候

昭和十八年十二月二十七日　臺北市大和町[illegible]

男　田尻芳實

妻　田尻芳子

二宮力

友人代表　谷口嚴

隣保班　青木久

父王國棟儀病氣加療中ノ處二十五日午後七時十分享年六十七齡ヲ以テ永眠仕候間茲ニ生前ノ御厚誼ヲ謝シ旁々此段謹告仕候也

追而[illegible]

男　王華重

孫　王華義

親族　王源遠商行

親戚　[illegible]

友人　[illegible]

會葬御禮

角儀太郎

御會葬御禮

村橋昌三

父忠儀十二月二十三日病死致候二十七日午後[illegible]東門町曹洞宗別院ニ於テ告別式[illegible]相營申候間生前ノ御厚誼ヲ[illegible]拜謝シ旁々謹告候也

臺北市川端町二一七

男　月岡行

男　茂野隆雄

親戚　高津隆基

小林敏郎

友人代表　松尾貞吉

[illegible]

昭和十八年十二月廿[illegible]日

父　重信常八

母　常敏

兄　俊行

弟　龍五郎

弟　吉原昇三

親族代表　大橋英夫

夕刊
臺灣日日新報
[illegible]

叡旨奉體、皇猷贊襄
貴族院 開院式勅語奉答文

【東京電】二十七日の貴族院本會議で可決された開院式勅語奉答文左の如し

貴族院議長臣松平頼壽誠恐誠惶謹テ
叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス
茲ニ第八十四回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル
勅語ヲ賜フ恭ク惟ルニ外征ノ皇師ハ萬里ノ波濤ヲ凌ギ炎熱ヲ冒シ勇戰奮鬪愈々其ノ威武ヲ發揚シ銃後ノ臣民亦克ク艱苦ニ堪ヘ生産ニ勤メ齊シク奉公ノ誠ヲ致セリ而シテ興亞ノ大業日ヲ逐ヒテ進ムヲ見ル寔ニ
陛下ノ威徳ニ頼ルニ非ラスンハ焉ゾ是ノ如キヲ得ムヤ然リト雖モ今ヤ彼我ノ攻防愈々激ニシテ戰局愈々重大ナリ
陛下深ク軫念アラセラレ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ戰爭ノ目的ヲ達成セムコトヲ宣ハセ給フ
聖諭ノ優渥ナル洵ニ感激ニ勝ヘス臣等謹テ
叡旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ
皇猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス臣頼壽恐懼ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

徴兵へ力強く推進
軍官民を網羅委員會設置

本島統治に劃期的飛躍を具現する待望の徴兵制は六百五十萬本島民感激の裡に昭和二十年度より施行されるが、本島統治の最高目標たる徴兵制實施の完璧を期するには皆兵養成、國語普及、衛生、戸籍整理等各般に亙る準備を進めねばならぬので之等徴兵制施行の準備を綜合的に調査、研究すると共に必要的施策の推進、促進を目的とする爲、新に總務長官を委員長とし陸海軍關係官、總督府關係局長並に民間有力者を委員とする徴兵制施行準備委員會を設置することに決し、廿七日午後一時より總督府會議室に軍部岡田中將、[illegible]參謀、並に[illegible]海軍武官、府側鈴木兵事課長、田中[illegible]課長、小澤文書課長、森田[illegible]課長等が參集して「徴兵制施行準備委員會」の構成要領、設立準備、委員會進行豫定等につき打合せを行つた、尚同準備委員會は來春匆々結成すべく準備を急ぎ軍、官、民一體となり徴兵制實施の完璧を期し力強く推進することになつた

訂正　二十七日朝刊一面前田衆議院議員談話中「戰局の誤認」とあるは「非常」の誤りにつき訂正いたします

臺北、臺南競馬は存續
局部長會議で方針闡明

總督府に於ては十八年最後の局部長會議を二十七日午前十時より長官公室に於て開催、左記各局部長より夫々報告及び説明があり最後に長官より總督の上京及び歸府に關する日程及びその間に處理すべき業務に對する指示があり、午後零時半終了した

森部鑛工局長　先般決定したる高[illegible]等に就き、金及石炭の急速增産の狀況、計畫の報告並其の他所管事項の説明

澤田農商局長　農業會創設に就いては先づ市街庄農業會の結成を行ひ之等單位農業會の結成後來年二月頃臺灣農業會を組織したき旨の報告及び内地競馬の閉鎖に關し臺灣に於ては臺北、臺南の二競馬のみを殘し他は廢止すべき旨の方針を説明

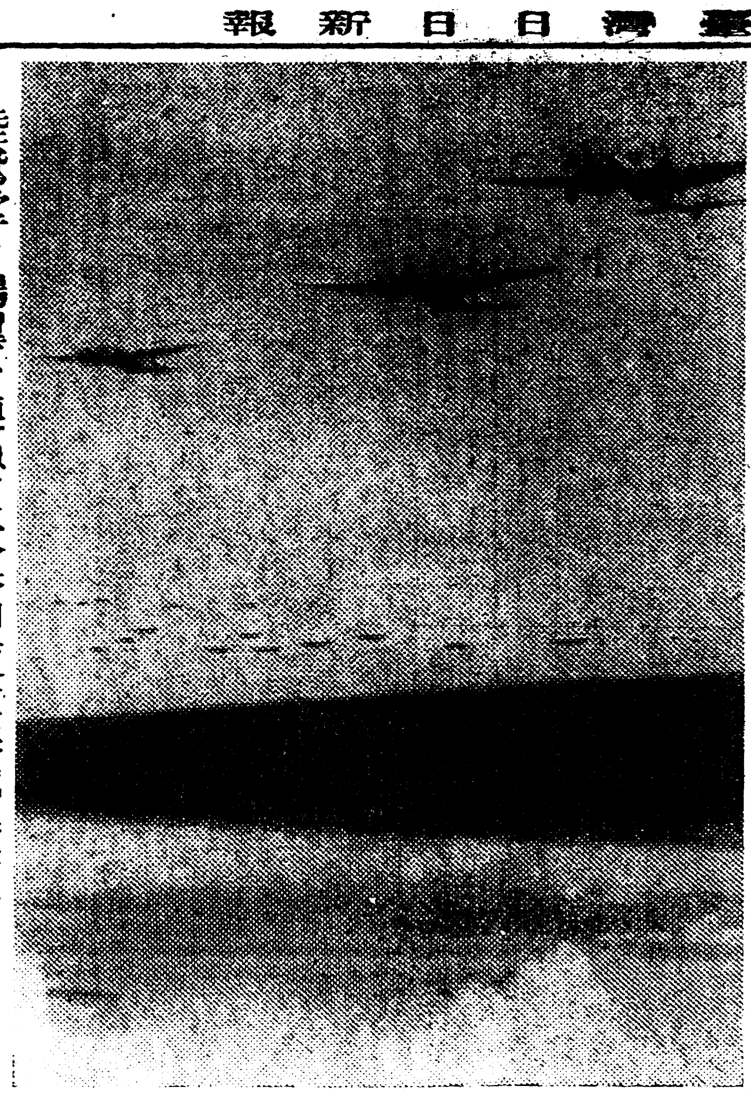
山本專賣局事務總長　先般決定したる機構改革は廿八日より施行すべきこと並に新陣容の人事は多少遲れるが出來るだけ急ぐ旨を説明

鶴谷文教局長代理　先般政府發表の專門學校以上の學制改革に對應する本島の方針は最近府議決定を見たる臺灣の[illegible]教育の改革と大學内地に於ける今回の府議決定の學制改革を速やかに行ふと共に只實業專門學校に對する措置は内地の新方針に準據して所要の改革を行ひたき旨を報告

田井人事課長　年末年始における官廳休暇取止め決定の件並に之に關聯して事務處理に對する具體的方針を説明

鈴木企畫室書記官　最近總合、食糧管理令の閣議決定並に近く之が公布制定たるの經過報告並に技手給制規準を如何か緩和する事に決定したる旨の報告

佐治事務局長　煙草値上げに關する件並に所管事項の報告



陸鷲堂々鵬翼を連ねて大擧印度敵基地爆擊行（陸軍省檢閲濟）

猛攻・玉碎戰友へ餞
マキン タラワ今や『戰慄の島』と化す
週間戰況

【東京電】大東亞戰爭が第三年目の「決勝の年」に突入しての第三週目、本年度最後の週間戰況として戰局の動きを大觀するに、物量を唯一の恃みとする敵の反攻は依然猛烈の度を加へつつあるものと見るべきである、即ち二十一日の北千島への敵機の來襲、十五日以來のニューギニア島ラコナ附近への新兵力の上陸並に濠國方面への十二國に亙るゲリラ的空襲等は特に今後の敵の動きと睨合せて注目される現象である。尚又敵がソロン方面への新企圖を包藏してゐることも看取され、各方面の戰況は絶對に油斷を許されぬ狀況にある。週間戰況左の如し

一、北方方面　十二月二十一日夜半、敵機一機北千島に飛來、若干の照明彈、爆彈を投下後東北方に逃避した、我が方の損害は皆無、この方面は目下天候不良のため殆ど敵の動きはないが、來春天候回復と共に相當盛なる攻擊あるものと認められる

二、支那方面

（イ）地上作戰　第六戰區に對する進攻作戰は第六、第九戰區の一部軍、二十八個師を擊滅すると共に常德周邊の敵軍事施設を完全に潰滅、引續き各所に掃蕩戰を展開しつつあり、又北支に於ては輝々たる戰果を收めつつあり、引續き隨所に討伐戰を實施中で、廣西地區の九月中旬から十二月十日までに收めたる戰果は敵遺棄屍體四千三百、俘虜二千六百、覆滅施設一千六百六十七、鹵獲品大砲六門、重輕機三十八挺、小銃二千五百挺、各種彈藥十萬一千發、手榴彈三萬七千發

（ロ）航空作戰　我が陸鷲は地上部隊と密接に協力すると共に十八、十九、二十一、二十二の連日に亙り在支米空軍の根據地たる桂林、衡陽、贛州、長沙などに進攻して敵機四十一機を擊墜すると共に三十一機を擊破炎上、又二十三、二十四の兩日廣東地區に來襲した戰爆連合の敵機を邀擊、二十七機を擊墜すると共に他の十數機に有效彈を浴せてこれを潰走させた、十八日から二十四日の間我方の損害は自爆及未歸還十一機である、斯くの如く在支米空軍に對し形而上、下に亙る致命的打擊を與へてゐるのである

三、北部佛印及び泰方面　國境方面は變化なく敵機のゲリラ的出擊あるのみで、十二月中旬敵機の來襲は佛印十一回延三十九機、泰十二回延十二機、我方被害なし

四、ビルマ方面

イ、地上作戰　北部ビルマフーコン方面のわが部隊は在印重慶軍新編第三十八師及びアッサム方面聯合軍を隨所に擊退しつつ多大の戰果を收めアッサム進攻の態勢を強化してゐる、ブチドン正面の敵は小出擊が逐次活潑となりつつあるも、わが方はその都度果敢なる反擊により之に大損害を與へ擊退してゐる西南支那方面敵の動向は變化なし

ロ、航空作戰　敵機の來襲は依然執拗でわが進攻の妨害、後方補給路の遮斷に努めてゐる實情である

五、南太平洋方面

一、ソロモン方面　ブーゲンビル島トロキナ岬附近に於ては引續き間斷なき激戰が展開されてをり、わが陸軍部隊は寡兵克く優勢なる敵の出擊を反擊してこれに大打擊を與へてゐる、去る七日から十七日に至る間トロキナ岬東北方七キロ、ピチヤ山附近に攻擊して來た敵と交戰これを擊退し、敵の遺棄死體百八十九、鹵獲品重輕機十挺、小銃二千七挺、同彈藥一千四百發の戰果を擧げた、一方海軍航空部隊は十五日未明敵輸送船團群のマーカス岬に近接中を發見し、直ちにこれを攻擊、十五日早朝に敵輸送船四隻、上陸用舟艇三十隻以上擊沈、大型巡洋艦、輸送船各一隻を擊破し沈沒概ね確實、十六日午後には大型上陸用舟艇二十隻、上陸用舟艇二十隻以上、特殊輸送船二隻、上陸用舟艇多數を炎上大破、敵機五機を擊墜、十七日早朝には小型輸送船海上トラック各一隻、大型上陸用舟艇四隻、上陸用舟艇數隻を夫々擊沈し、敵陣地二ケ所を爆碎、十七日早朝には小型輸送船二隻、海上トラック一隻、大型上陸用舟艇一隻を炎上大破し、敵機八機を擊墜した、この間我が方の損害は未歸還十機であつた、マーカス岬の敵上陸地點に對しては海鷲はその後においても攻擊の手を緩めず、十七日深更ピレロ島敵陣地四ケ所を爆破炎上、二十一日再び同島を攻擊、六ケ所を爆破炎上せしめ、上陸用舟艇二隻を擊沈、二十二日未明マーカス岬附近の敵據點並に軍需品集積所二ケ所に大火災を一ケ所に大爆發を生ぜしめ、九ケ所を炎上せしめた、一方十七日早朝敵機約四十機ラバウルに來襲したが、海鷲は之を邀擊してその十八機を擊墜した、わが方未歸還二機、十九日午前敵は戰爆連合八十四機の大編隊を以て再びラバウルに來襲、海軍戰鬪機隊はその八機を擊墜、わが方は地上に被害はなかつたが未歸還自爆一機を出した、翌二十日未明にも敵中型十數機來襲したが、海軍戰鬪機隊はその一機を擊破炎上せしめた、トロキナ岬方面の敵陣地に對しても海鷲は十七日深更敵飛行場、軍事施設を爆擊、滑走路附近九ケ所を爆破炎上、軍事施設三ケ所に大火災を生ぜしめ、更に十九日未明再び同方面を攻擊、猛烈な敵の抵抗を排除しつつ敵飛行場三ケ所を爆破炎上、軍事施設一ケ所を炎上せしめた、二十日未明海鷲は一齊に各方面の敵據點を急襲した、即ちブナ飛行場においては滑走路に全彈命中爆破、グッドイナフ島においても滑走路爆破一ケ所に誘爆を生ぜしめた

二、ニューギニア方面

イ、地上作戰　フインシハーヘン北方及びマダン南方地區においては連日の如くに作戰行動を妨害されつつも奇烈な作戰が續けられてゐる、敵の一部は去る十五日フインシハーヘン北方約十三粁ラコナ附近に上陸し來たり、ソング河北方の要點を確保してゐた我が部隊は陸海の協力の下にこの敵を邀擊中である、又我が決死挺身部隊は隨時敵の後ろに潛入して砲兵陣地、宿營地等を奇襲、その心膽を寒からしめてゐる、ソング河北方に於て十一日より十九日迄に我が陸軍部隊の擧げた戰果は敵の遺棄死體一千七百五、鹵獲品は大砲一門、重機一挺で戰車三輛、自動車一輛を夫々破壞した、マダン南方地區において去る八日から十三日迄に敵に與へた損害は遺棄死體二百三、鹵獲品は大砲七門、重擲彈筒六挺、小銃一五九挺、各種彈藥十五萬二千五百發であつた、ニューブリテン島マーカス岬附近に上陸せる敵に對しては陸上守備隊は航空部隊と緊密なる協力の下に之を攻擊中である、トロブリアンド島においては飛行場附近のピレロ島敵上陸地點一箇所を爆破炎上、又マーカス岬附近の四箇所を爆破炎上せしめた、二十一日海鷲は二回に亙りマーカス岬附近で敵の輸送船團を攻擊し第一次に大型輸送船一隻、特殊艦船若しくは中型輸送船四乃至五隻、巡洋艦若くは大型驅逐艦一隻、上陸用舟艇一隻を擊沈、驅逐艦一隻を炎上大破、小舟多數を擊破、第二次には特殊艦船二隻、特殊輸送船若くは小型輸送船三隻、特殊輸送船若くは海上トラック二隻以上、上陸用舟艇約三十隻を擊沈、驅逐艦一隻炎上大破、輸送船一隻、上陸用舟艇多數大破、敵機四機擊墜の戰果を擧げた、この間の我方の損害は自爆及び未歸還十機であつた、又同日未明にも海鷲はマーカス岬ピレロ島の敵上陸地點を爆擊し四箇所を爆破炎上せしめ更に附近の上陸用舟艇群を攻擊、その二隻を擊沈、我方は全機無事歸還した、尚之よりさき十四日朝ブーゲンビル島東端バラレに敵艦爆七十五機來襲したが、我が地上部隊はその十七機を擊墜した、ソロモン方面後方敵機動部隊の新企圖に對しては尚ほ警戒を要するものがある

ロ、航空作戰　陸鷲は地上作戰に緊密に協力すると共に敵基地に進攻し或は敵の邀擊に連日奮鬪中で、十六日にはマーカス岬西北方でP38六機を擊墜、十七日にはラバウルに來襲せる敵機を邀擊しP38一機を擊墜、十八日にはマーカス岬敵陣地を攻擊し、一箇所を炎上すると共にP38四機を擊墜、又フインシハーヘン北方を攻擊し一箇所を炎上せしめた、十九日にはフインシハーヘン北方敵軍需品集積所を攻擊、十一箇所を炎上、海上にあつた大發一隻を擊沈、マーカス岬東南端の敵を攻擊し大損害を與へ、ラバウルでは來襲せる敵機二十二機を邀擊その八機を擊墜した、二十日には敵戰爆連合の三十二機がアレキシスに來襲したが、地上火器によつてB25十二機を擊墜した、二十一日我陸鷲はマーカス岬に進攻し小型輸送船二十數隻を捕捉、これに猛攻を加へ大損害を與へると共にP47一機を擊墜した、同日アレキシス、マダン兩地區に來襲の敵機四十二機を邀擊、B25九機を擊墜した、二十二日ウエワクに來襲の敵戰爆連合の八十六機を邀擊地上火器及空中戰によりその十九機を擊墜した、二十三日ラバウルに來襲した戰爆連合の敵約五十機を邀擊、その三十二機（內不確實七機）を擊墜した

三、東北バンダ海方面　十二月中旬敵機の來襲三十五回延百十八機であつた、尚十六日未明ボルネオ島バリックパパンにB24、PBY等八機が來襲したが、海軍と地上部隊は相協力してその一機を擊碎した、我方の損害は輕微

六、中部太平洋方面　二十日午後三時十五分大本營からギルバート諸島マキン、タラワ兩島守備部隊柴崎海軍少將以下陸戰隊員三千名、設營隊員一千五百名の玉碎が發表された、海鷲は戰友の血涙を揮つたが、海鷲は戰友の復仇に兩島に對し十一月二十五日以來猛攻を加へ、兩島は今や敵にとり「戰慄の島」と化してゐる、即ち十一月二十五日玉碎の當日と翌二十六日未明タラワ島を攻擊し敵上陸部隊並に飛行場を爆擊した、十二月四日夕刻タラワ島を急襲、全彈を飛行場に命中、全島火の海と化し數ケ所に猛烈な大爆發を惹起させた、同六日夜タラワ島飛行場爆破炎上、同八日夕刻マキン島敵軍事施設、荷揚場等を爆破、十一日深更タラワ島敵軍事施設に全彈命中、一箇所大爆發、十三日夜タラワ、マキン兩島軍事施設一箇所炎上、十五日未明マキン島一箇所爆破炎上、十八日夜タラワ島飛行場滑走路附近に全彈命中、十九日未明マキン島を攻擊、敵の猛烈な抵抗を排除して飛行場及附近の軍事施設に全彈を命中せしめた、十五日朝マーシャル諸島マロエラップ環礁タロア島にPBY二十數機が來襲したが、海軍戰鬪機隊はその十一機を擊墜し四機を擊破して遁走せしめた、翌十六日未明再び二十一機來襲したが、海鷲はその五機を擊墜、一機を擊破して擊退した、兩日とも我方の損害は輕微であつた、十九日朝敵P40コンソリデーテッドB24戰爆連合延三十七機は三回に亙つてマーシャル諸島ミレ島に來襲したが、海鷲は一機を擊墜、一機に黑煙を吐かせしめて擊退した、我方未歸還一機、同日マーシャル諸島マロエラップ環礁タロア島にB24八機來襲、海軍守備隊はその一機を擊墜した、翌二十日午後再びB24十一機を以て來襲したが、海軍守備隊はその二機を擊破炎上遁走せしめた、兩日とも我方に被害はなかつた（へ

ジトミール血戰熾烈
赤軍損害を無視攻勢繼續

【ベルリン二十五日發同盟】D・N・B通信記者ヘンメル大佐は二十五日東部戰線中南部地區の戰況を次の通り報じてゐる

赤軍は二十四日少なくも歩兵十一箇師並に強力な戰車部隊から成る優勢な兵力をもつてキエフ・ジトミール公路の兩側で攻勢を開始したが、ドイツ軍は敵に大損害を與へ同日夕刻までに赤軍戰車五十八臺を擊破し前後十一回に亙る赤軍の攻擊を粉碎した、赤軍は斯る甚大なる損害を蒙りながらも戰列を整へ再び攻擊を開始し數箇所でドイツ軍陣地内に突入したがドイツ軍は反擊に出で二十五日に至るも依然激戰が續行されてゐる、更にコロステン東方でも赤軍は攻勢に出で數地點に突破口を形成したがドイツ軍は敵突入部隊を殲滅した、一方中部地區のレチツア西北方ではドイツ軍は攻擊作戰を續行敵地域を奪取赤軍の頑強な抵抗を排してベレジナ河を渡河の東側でもかなり廣汎な地域を獲得した、ズロービン西北方でも激戰が行はれ赤軍は前日形成した突破口を擴大せんと企圖したがドイツ軍は強力な砲兵の掩護の下に反擊に出で敵の企圖を挫折した、ヴイテブスク地區では依然赤軍は優勢な兵力をもつて攻擊を續けて居りドイツ軍は右地區で敵戰車四十四臺を擊破した、ネヴエリ西北方では赤軍は局地的攻擊を行つたがドイツ軍はこれを一蹴した

オルトナで市街戰

【ベルリン二十五日發同盟】DNB通信記者ブレグナー氏は二十五日南部イタリアの戰況を次の通り報じてゐる

東部地區では二十五日廣汎な戰線に亙り特にアドリア海岸近くで激戰が行はれ過去數日來のインド、カナダ軍など雜軍に依る攻擊が成功しなかつたため英第八軍首腦部は二十四日から新鋭部隊をもつてこれに變へ、遂に二十四日午後オルトナ西方のドイツ軍陣地に楔を打込むのに成功した、次で英第八軍は右突破地點から優勢なカナダ軍をもつてオルトナに攻擊を加へ、右部隊はオルトナ市内へ突入するに至り二十四日夜半からは猛烈な市街戰が行はれてゐる

獨軍戰況發表

【ベルリン二十五日發同盟】獨軍大本營は東部戰線及び南部イタリア戰線の戰況につき二十四日正午次の通り發表した

△東部戰線

一、ジトミール東方地區では赤軍が有力な戰車及砲兵部隊を以て大規模な攻擊を開始し、目下激しい戰鬪が續行されてゐる、右戰鬪においてドイツ軍は赤軍戰車五十八臺を擊破した

一、レチツア西北ではドイツ軍は攻擊を續行、赤軍の頑強な抵抗を排して強行渡河を敢行、赤軍陣地數箇所を占領した

一、ズロービン東北では激烈な攻防戰が續行されてゐる、同地區において赤軍は突出部を擴大せんと企圖したが、ドイツ軍は有力な砲擊の掩護下に反擊し赤軍の進出を阻止した

一、赤軍はヴイテブスク地區において攻擊を強化して來つたが、直ちに擊退され、ドイツ軍に赤軍に對すべき重要な戰鬪は行はれなかつた

△イタリア戰線

一、東部戰區のオルトナ地區では反樞軸軍は再び執拗な攻擊を加へて突破作戰を企圖してゐるが、同地區では激戰が續行中である

一、イタリア戰線の中部及び西部戰線は平穩であつた

獨軍大本營發表【ベルリン二十六日發同盟】

一、東部戰線における本會戰は前線部から報ぜられた赤軍はニコポリ橋頭堡ならびにドニエプロペトロフスク西南方で再び攻勢を展開ドイツ軍との間に激戰を演じた、右戰鬪でドイツ軍は敵戰車七十一臺を擊破した、ジトミール地區では數的に優勢な赤軍は他の地區にも攻勢を擴大した右戰線でドイツ軍陣地内に突入した赤軍先鋒部隊は殲滅された、レチツア西北におけるドイツ軍の攻勢は更に進捗しズロービン地區においてはドイツ軍擲彈兵は反擊に出で赤軍の突出部を除去した、クリーチエフ西北方で赤軍は強力な部隊を以つて攻擊に出たが擊退され敵の局地的楔も除去された、ヴイテブスク戰區では引續き激戰が行はれ楔を擴大せんとする敵の企圖及び敵の突破作戰はドイツ軍の急速なる增援軍の增強によつて失敗に歸した

一、南部イタリアではオルトナ地區で激戰が續けられドイツ軍は反擊に出て重要高地を奪取した然しオルトナ市内では目下なほ激烈な市街戰が展開されてゐる

その他の地區ではミニヤーノ西北における敵の猛烈な攻擊を除き戰線は平穩であつた

一、二十四日フランス叛軍ならびに英軍から成る敵奇襲部隊はドーヴァー海峽沿岸のドイツ軍陣地に接近せんと企て殲滅された

一、ドイツ潛水艇隊は過去數日間に大西洋ならびに地中海で敵船舶五隻合計三萬四千五百噸を擊沈他の一隻に魚雷を命中せしめた更に護送船團を護衛中の驅逐艦ならびに哨戒艇九隻も擊沈された

東西話題

チャーチル罹病
英米狼狽

【東京電】英首相チヤーチルがテヘラン會談からの歸途某所で罹病中であるとの發表は英米を驚かせた、病狀は其後一進一退を續けてゐる樣子だが去る十一月三十日テヘラン會談の最中に滿六十九歳の誕生を迎へた彼の老齢であり、更に以來連日の疲勞が重なつたのを無理に押して東奔西走してゐただけに英米側ではひどく氣遣つてゐる樣だ、英米にとつて今チヤーチルを失ふようなことでもあればそれは大戰略を變へなければならない程の事態と云はなければならない、國內的に見ても今後の後繼者として第一に上つてゐるイーデン、アトリー、ベヴイン、モリソンの何れを見ても彼程國民の輿望と信頼とを集めてゐる程の政治家は先づ見當らないし、スマツツ南阿首相を推して來ることは英政界の傳統的、及びスマツツ自身非常な高齡であるから見ても先づ不可能だらうと考へられる、更に對外的に見ればスターリン、ルーズベルトと三者鼎立して表面は兎も角、內面的には暗鬪の一人が病床に在つてゐるのは矢張りチヤーチルであり、ルーズベルトの動きは彼に押し上げられてばかりゐない、所謂英米協同の實は何と云つてもチヤーチルであり、彼が居るからこそ出會ひ強い米ソも一應手を握るところ迄漕ぎ付けたのだと云へる、英米側の憂慮措く所を知らぬのも正に無理のない所である、チヤーチル病むの報と共にチヤーチル夫人が急遽ロンドンを飛び出して看護に赴いたが、チヤーチル夫人は聞えた賢夫人で、チヤーチルが今日あの老齡で尚活躍として東奔西走出來るのも一にこの夫人が最も深く彼に傾へさせる內助の功を注いでゐるからである、故事夫婦のこととも良く知る人は『夫人さへ行けば或はチヤーチルは助かるかも知れない』と云つてゐる程だ、ともあれチヤーチルの病氣は反樞軸にとつて一大事であることに間違はない、そして彼に萬一のことがある樣な場合、彼に代るべき樣な大物が出て來ない限り反樞軸の內部は政治的に未熟なルーズベルトの勢力がのし上つて來て、ソ聯との關係も從來ほど圓滑さは期待出來ないであらう

戰局の前途頗る多難
ル大統領前線將兵に挨拶

【ブエノスアイレス二十四日發同盟】米國大統領ルーズヴエルトは二十四日午後降誕祭前日に當り前線の米軍將兵に對し降誕祭挨拶をしてカイロ並にテヘラン會談の經過を説き更に

戰局 の前途に就ては「勝利への道は容易ならず戰爭の終局は未だ見えない」と述べて前途の多難な所以を指摘した、ルーズベルトは先づ前線に出動してゐる米兵力量に就て次の通り述べた

余は現在の軍事上の諸問題特に出來るだけ速かに且つ凡ゆる方向からの樞軸軍に對する攻勢を促進する對策に於て英米兩國並に重慶代表と協議を遂げた、降誕祭前日に當つて現在米國だけは一千萬以上に達してゐる、一年前には國外戰線に出征してゐた米軍の兵力は百七十萬に過ぎなかつたが現在では右數字は二倍以上即ち三百八十萬に達し一九四四年七月迄には更に五百萬に增加するであらう、過去數個年間に亙り降誕祭と新年の御祝ひを述べるに當つても全世界に低迷する暗雲に妨げられて心の底から確信を以て

祝辭 を述べることが出來なかつた、今年に於ても更に幾多の苦難と犧牲と個人的な悲劇とも覺悟しなければならない、或はソロモン水域に於て或はギルバート諸島に於て乃至は又チユニジヤ戰線イタリア戰線に於て激戰を經た米軍將兵は近代戰の體驗と知識とにより一層大きく且つ高價な幾多の戰ひも戰はねばならない事を承知してゐる

ルーズベルトは次でカイロに於て蔣介石とテヘランに於てスターリン議長と會見したことを大々的に宣傳しこれらの會談によつて歷史は作られたと手前味噌を並べた後會談の內容に就ては左の通り述べてゐる

今回の會談の結果主要目標に就ては意見が一致してゐることが保證された、カイロに於てはチヤーチルと余は四日間に亙り蔣介石と會見した、東亞の複雜な問題に就て親しく蔣介石と意見を交へるのは初めてであつたが

會談 の結果はつきりした戰略を決定出來たばかりでなく東亞問題に關し討議することが出來た、カイロ會談の決定に基きマーシャルは空路世界を一周してマツカーサー並にニミッツと會談を遂げた、カイロ會談の後チヤーチルと余とは空路テヘランに赴き同地でスターリン元帥と會見し軍事問題に亙り隔意なく意見を交換した、前後三日間に亙り會談を續けた結果三國代表はドイツ軍に對し攻擊を開始することに關し凡ゆる點に於て意見が一致した、赤軍は東部戰線において猛烈なる攻勢を續行するであらうし、イタリア本土並にアフリカ北部に於ける反樞軸軍は南方からドイツ軍に對し不斷の壓迫を加へ更に米軍並に英軍の大部隊は新しい他の諸點からドイツ軍を攻擊するであらう、これらの諸點から

綜合 攻擊を指揮する司令官にはアイゼンハウアーが專任された又中將スパーツはドイツ軍に對する米英空軍の連絡攻擊を全的に指揮するであらう

テヘラン會談に就てはルーズヴエルトは特に米英ソ三國の連絡關係を強調したがルーズヴエルトが特に重慶政權を一枚加はらせ更に小國に對しては「國の大小を問はず各國の權利は合衆國內に於ける個人個人の權利と同樣飽く迄尊重されなければならない、自由に對する各國民の權利は各國がどの程度迄自由の爲に戰ふ用意があるかに依つて測定されなければならない」と述べ、所謂「非占領各國に於ける目に見えざる同盟國」に呼びかけてゐるのは反樞軸一流の謀略攻勢の現れといふことが出來よう、今回の戰爭が世界制覇を狙ふルーズベルトの私慾に外ならず米國民の安居樂業に對しては日獨兩國は敢て

干涉 を企圖してゐなかつたことは天下周知の事實だがルーズベルトは國內輿論を引き締め無名の戰ひに大義名分をこじつけるために進んで次の樣な詭辯を弄してゐる

空軍の進步に依り世界は非常に小さくなり、今やとの地理的尺度を放棄するの已むなきに至つた、最近に至るまで軍事專門家ですら米國が日本軍の進擊に對し太平洋岸を防衞しなければならないなどとは夢にも考へなかつたのである、米國內には依然として若し米國人がそれぞれの家庭に歸り女子の戶締りをしつかりして置きさへすれば最早や戰爭はないと考へてゐる朗かな阿呆が少くないが、事態の推移に強要されて彼等も亦現實に直面せざるを得なかつたのである、米國民は今度の戰爭が却々容易でない戰爭であることを否も承知してゐなければならない筈だ、今回の旅行で自ら前線に立つて樞軸軍と對戰した幾多の

軍人 諸君と會見したが、これらの現實主義者は樞軸軍の戰力と作戰の妙を智謀湧くが如き事實を口を揃へて強調したのである、戰爭は今や米軍が戰死戰傷並に行方不明の大きな數字を覺悟しなければならない段階に到達した、勝利への容易な道は存せず戰ひの終局は未だ眼前に展開するに至らない、ワシントンに歸つて僅か一週間にすぎないが率直に言へば米國民の間に戰爭が間もなく片付くとか既に勝利を收めたのだといふ傾向が強い樣に思ふ、恐らく以上の誤つた推論の結果であらうが派閥的な考へ方と派閥的な論議が橫行するに至つた米國民にとつて第一の最大の任務はすべて勝利を收めることに集中されなければならない、歐洲と東亞に亙る來るべき大反攻には米國民並に反樞軸國民は有ゆる精力と忍耐とを傾注しなければならない

齋藤長官に
勳章を傳達

支那事變第一回文官論功行賞に依り勳一等瑞寶章を拜した齋藤總務長官に對する勳章傳達式は二十七日午前十時總督公室に於て擧行され、安住書記官並に根井人事課長侍立の下に長谷川總督より恭々しく勳一等瑞寶章を傳達された

米政府ボリヴイア
新政府に威嚇の手

【ブエノスアイレス二十五日發同盟】ボリヴイア新政府に對してはエクアドル政府が率先承認を與へたが、二十四日に至り同政府は突如聲明を發表し「新政府承認は時期尚早である」と述べ承認の事實を否認した、一方アルゼンチン大使は既に二十三日サンチヤゴ市に於てチリー外相と四十分に亙り協議を遂げたが、更にアルゼンチン外相ヒルベルトは二十四日ブエノスアイレス駐剳ボリヴイア、ブラジル、ウルグワイ三國大使を招致、ボリヴイア新政府承認問題に就て協議を遂げた、以上アルゼンチン政府が何とかして米洲外交界の危機を打開しようと八方工作を重ねて居るにも拘はらずアメリカ政府は飽く迄米國帝王主義の名の下にボリヴイア新政府を抹殺しようとする意圖の下に先づウルグアイ外相グアニーを唆かし、二十四日モンテヴイデオに於て米洲防衛委員會の緊急會議を開催、次の決議案を採擇させた

一、米洲各國は米洲內に於ける新政府の成立に當つて輕く承認の擧に出でざること

一、承認に當つては新政府が果して米洲の安定を保證出來るかどうかを確認する主要な點に於て人物の經歷、政綱の細目などに就て充分調査を遂げること

右會議にはアルゼンチン代表は缺席したと傳へられるが、新首相エステンソーロを始めボリヴイア新政府の中心人物が一九四一年七月樞軸派の叛亂運動に關聯し逮捕された事實あり、米洲防衛委員會今回の決議は要するに米國の下にボリヴイア新政府を承認せず、ボリヴイア國內の內政に干涉しようとする米國政府の企圖に他ならない、ボリヴイア新政府としては是非とも錫を米國に輸出しなければならないと云ふ經濟的弱點あり、米洲各國政府がアメリカの音頭取で飽く迄承認を拒否する場合には重大な難局に逢着すると見られるが、米國政府に於ては既にベルギー領コンゴで良質の錫を生産してゐると暗に宣傳し、經濟的な部面からもボリヴイア新政府を威嚇してゐる、以上の諸點に鑑みボリヴイア外相タマヨーはとくに米洲駐剳各國使臣に訓令して

一、ボリヴイア政府においては米洲各國政府殊に隣邦諸國との親善關係を維持することを衷心から希望する

一、今回の政變は飽く迄民主的な性格を帶びて居りボリヴイア政府は依然として反樞軸陣營に踏留まるであらう

一、國內の治安は完全に維持されて居り全國民は新政府を支持してゐる

旨を駐剳各國に申出でる樣指令した

米海軍損害を發表

【ブエノスアイレス二十四日發同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は二十四日開戰以來の米海軍將兵並に沿岸警備隊の損害に付き發表を行つたが、その內譯次の通り

戰死一萬四千三百十六名、負傷六千一名、行方不明八千二百四十七名、俘虜四千二百四十七名、計三萬二千九百十一名

鐵鋼勞働者罷業開始

【ブエノスアイレス二十五日發同盟】ニューヨーク來電＝オハイオ州ヤングスタウンの米國鐵鋼會社罷業鐵鋼勞働者は二十四日夜半を期し賃金契約終了とともに一齊に罷業を開始した、但しその他の地區の勞働者が同樣罷業を開始したか否かは未だ不明である

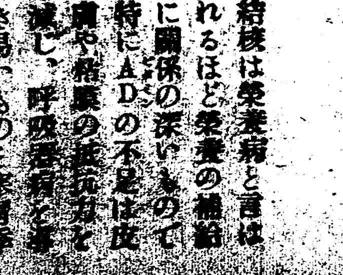
人事

▲高原高雄州知事　二十七日歸任同日夜行にて高雄へ
▲淺田俊介氏（[illegible]）二十七日來北
▲佐久力松氏（[illegible]）[illegible]中のところ歸阪
▲藤山愛彦氏（[illegible]）上京中のところ[illegible]
▲宗藤大陸氏（[illegible]）[illegible]
▲萩原[illegible]氏（[illegible]）七日來北（[illegible]）挨拶に本社來訪
▲[illegible]氏（大和[illegible]）[illegible]歸臺

感冒 たんせきに
セキミン 散劑
笹虎製品
向寒に備へ大切な體力を感冒たんせきで弱めぬやう
價格 五十錢 一圓二十錢
大阪市東區內平野町二丁目
總發賣元 笹虎製藥株式會社

喘息 氣管支
ぜんそくの苦しみを救へ
專門藥頓服で効く
發作の時、衰弱の時
用心の爲、一ぐ
ひろ喘息藥
各藥店にあり [illegible]

ハリバ
結核の
予防と榮養に



結核は榮養病と言はれるほど榮養の補給に關係の深いもので特にADの不足は皮膚や粘膜の抵抗力を減じ、呼吸器病を罹き易いもの。冬季寒さの今こそハリバを愛用してこの榮養を充實すること。

新社標
新商標
東京芝浦電氣株式會社

スルフォンアミド劑の大量療法に！
靜脈用
ポンジール
注射液

本劑は[illegible]
適應症
急・慢性尿路疾患、丹毒、敗血症、中耳炎、扁桃炎、腎盂炎、産褥熱、其他化膿性諸疾患に賞用せらる
包裝
一號（5% 20cc）五管入 十管入 五〇管入
二號（5% 10cc）五管入 一〇管入 五〇管入
製造發賣元 東京市日本橋區本町二丁目 萬有製藥株式會社
[illegible]

泰空軍へ爆撃機贈呈

[illegible]（上）[illegible]（下）[illegible]

決戰に翔る"虎尾郡號"

全郡民の愛國の至情擧がる

軍司令部・武官府へ 飛行機資金獻納

一戰は一戰、より苛烈の度を加へつゝある南方の戰線ソロモンに、レンドバに、ギルバートに、そしていまニューブリテン島ラバウルを目ざして敵米の不逞な觸手は伸ばされてゐる、夜も晝も敵を索て飛ぶ隼、吞龍、鍾馗、皇國の運命を翼にかけて[illegible]を抱き、爆彈を吊つて見敵必殺、雲染む男の決意同じく血戰を繰返す我が荒鷲の敢鬪に、銃後一億また飛行機を、軍艦を一日も早く一機、一艦でも多く前線に送れと[illegible]るとき臺南州虎尾郡では九月二十七日皇奉虎尾郡支會參與奉公委員臨時會中本島に實施と決定した昭和二十年の徵兵制施行、この幾十萬、幾百萬本島若人の喜びを記念し且又數を恃みに不逞にも侵攻を企てる南方第一線の米英艦隊こそ一日を爭ふ要事、[illegible]航空戰には必ず勝たねばならぬ、この壯烈な南方に[illegible]部赤誠の[illegible]を送れと議決、郡下部民一戸の洩れなく國の獻金運動を實施中、この程二十五萬圓の目標に到したので二十七日[illegible]古谷虎尾街長、[illegible]以下部民各層代表十三名を伴ひ出北午前十一時軍司令部を訪れ永野高級副官に對し十二萬五千圓の飛行機資金を獻納、續いて午後一時半海軍武官府を訪れ[illegible]大尉に同樣十二萬五千圓を獻納、郡部一致の赤誠を籠めた[illegible]をすれば永野高級副官、[illegible]大尉よりそれぞれ感謝の辭があつた、郡民の兄弟兒孫"虎尾郡號"が手を携へて南の空に[illegible]米英艦隊に[illegible]の姿を現はす日も遠くはない（寫眞は軍司令部における獻納式）

"我等斷じて敵機入れず……"

銃後の熱誠に 空の防人、感激

防空監視哨員感謝資金一部贈呈

敵を恃む敵機にわが本島を襲はんと虎視眈々怠念がない、これに備へて雨の日も、風の日も遠隔僻地にあつて、しかも凡ゆる不自由を忍び、わが國土防衞のため明けても暮れても敵機を求めて監視の重任にたつ吾らが空の防人——防空監視哨員の勞苦こそは吾らの思ひ遠く及ぶところではないのだ、空を護る吾らが防空監視哨員を護れと熱する本島銃後の赤誠に本社では[illegible]

御下賜金傳達式

【新竹電話】新竹州では去る十一月三日の明治の佳節に孝子として表彰された苗栗郡通霄街[illegible]春氏に對する御下賜金傳達式を二十七日午前十時州會議室に於て擧行した

獻納軍用機"玉里號"

來月十四日 玉里街で命名式

【玉里】[illegible]

緊迫せる決戰段階

米英呼應東西兩面作戰は必至

一億鐵石の覺悟を要す

敵米の決戰要求熾烈 米國はブーゲンビル沖域における敵米の敗戰によつて西南太平洋海軍艦隊の主力を喪失しその反攻企圖を挫折せしめられたが、頑強な敵米がこのまゝ引込む筈のないことは明かである、今次のブーゲンビル沖域の航空戰はソロモン方面における我が戰力の過少評價に基く全く無謀な冒險が敗戰の主因と見られてゐるが、敵がかくまで功をあせつたうらにはルーズベルトの指令が相當強く作用してゐるといはれる、卽ち從來の飛石作戰は米國內で強く批判され國民の人氣は頗る芳しくない、今後も同方面における敵の進攻速度が依然としてのろい場合は目睫に迫つてゐる大統領選擧戰に不利を招かず、茲においてルーズベルトとその一派は彼の人氣挽回の一策としてラバウル强襲奪還といふ强行價値の高い作戰を選んだものであると見るものがある、政略と戰略がからみ合ふところに米國戰略の無謀性があるが、それだけにかかる戰略目的を達成するためには手段を選ばない我武者羅なところが出て來るわけである、ラバウル奪回は敵の太平洋作戰の主軸をなすものであり、現にブーゲンビル島には敵の陸兵が上陸してゐる。これを自殺にするわけには行くまい、敵はおそらく太平洋殘存艦隊、[illegible]の總力を擧げて働いて來るであらうがかかる純戰略的要請に加へ以上の政略的動機からするも今後ソロモン方面に對する敵米の反攻が繰返され戰況を一層[illegible]なものとする公算が強くその後における同方面の戰局の推移がこれを物語つてゐる、またこれと同時に今次の失敗を他の方面における[illegible]たる戰果によつて相殺しようとする敵の企圖も十分考へられるところである、卽ち

一、ニユーギニア作戰を强化し、內陸傳ひにマダンを攻略してダンピール海峽の內側に出てラバウルの孤立化をはからんとする[illegible]

一、北太平洋或ひは中央太平洋進攻路による敵の新なる企圖、卽ち太平洋戰略の[illegible]機動部隊を編成し我が小笠原列島、[illegible]島、[illegible]島に[illegible]出來得ればわが本土の[illegible]に一擧を加へんとする企圖

一、大陸基地からするわが本土[illegible]

などは[illegible]

大陸では積極作戰堅持 支那大陸及びビルマ方面における戰爭の[illegible]は攻勢[illegible]の立場をとる太平洋決戰とは[illegible]、終始我が積極的攻勢によつて敵を壓服してゐる、支那大陸においては全支に亘つて間斷なき[illegible]作戰が行はれ、重慶軍の[illegible]を[illegible]してゐる。本年中[illegible]行はれた主要作戰のみでも北支における十八春、十八夏兩太行作戰、中支及び今秋の大陸軍[illegible]作戰[illegible]に於ては四、五兩月に[illegible]の[illegible]作戰、今秋の[illegible]南支においても本月上旬[illegible]沿線の治安圈擴大の[illegible]作戰が行はれ大東亞の[illegible]産軍の命脈を[illegible]々壓縮してゐる、かかる我が軍事行動による重慶側の痛手もさることながら、大東亞戰爭に盛りつくされた我が至純なる[illegible]精神は重慶の進歩分子に多大の衝擊を與へつゝあり、抗戰目標を完全に喪失した重慶陣營の[illegible]は今後の大陸戰線に大きな影響をもたらすことであらう、一方地上部隊の活[illegible]に呼應して我が在支陸[illegible]航空部隊は[illegible]支米空軍の[illegible]を[illegible]へ[illegible]大[illegible]

[illegible]てゐるが、最近シエンノートは重慶空軍をその傘下に收めて大陸[illegible]第一線機を[illegible]○○機に上る[illegible]を[illegible]我が本土空襲の[illegible]西南太平洋における本格的決戰の[illegible]であり我が[illegible]南支の[illegible]

マウントバツテンの動向 我がビルマ[illegible]今春四月[illegible]陸軍部隊はビルマ[illegible]を目ざして出動した英印軍をアラカン山脈の[illegible]に[illegible]しているいはゆる「アラカンの悲劇」といはれる[illegible]せしめて以來[illegible]戰備の增强につとめ敵の本格的ビルマ奪回作戰に備へてきたが、十月上旬印度洋の雨季明けると見るや印度と[illegible]の[illegible]建設を企圖して雲南國境に進出して來た重慶軍に對し[illegible]の如く急迫[illegible]約一萬の[illegible]を文字通り[illegible]

[illegible]去つた、ケベック會談[illegible]東南アジア[illegible]軍[illegible]司令官に就任したマウントバツテンは印度に着任するや「イギリスの東亞反攻作戰は[illegible]南軍、併用による大規模攻勢であ[illegible]」と[illegible]したのであつたが、[illegible]以來既に二個月、[illegible]攻擊を[illegible]するに[illegible]マウントバツテンの反攻[illegible]ことについて「ロンドン・タイムス」は[illegible]

かかる[illegible]はマウントバツテンが要求されてゐる作戰計畫の實行を妨げてゐると[illegible]してゐる、この外[illegible]印度の[illegible]を妨げるものにセイロン[illegible]の[illegible]トバツテンまで[illegible]ねばならぬと[illegible]チヤンドラ・ボース氏の印度[illegible]府の[illegible]民衆の反英運動の[illegible]一つの原因であらうが更に根本的な[illegible]は米[illegible]を第一とする英國[illegible]

それに[illegible]する決戰要求が[illegible]ることになれば[illegible]マウントバツテンの[illegible]

健兵、健民を錬成

優秀な

石川大佐 文教局錬成課に返咲きの辯

前總督府陸軍兵志願者訓練所長陸軍大佐石川熊一郎氏は病氣のため在任一年半の臺灣生活を切り上げ惜まれて所長をやめ內地東京に歸つてゐたところ、最近健康も恢復し再度來臺、府囑託として臺灣に返り咲き[illegible]文教局錬成課に[illegible]、川崎大佐の後任として昭和二十年度の徵兵制實施を前に最も重視される本島青年錬成事務に携はる事となつた同氏は二十五日空路着任したが、二十七日錬成課で左記の如く語る

[illegible]ヤア、また厄介になります、別に抱負も感想もありませんが、徵兵制實施に備へる青年錬成といふ仕事は頗る重大性を有して居るのでひたすら上意を通し本府の青年錬成方針や計畫に基いて大いに勉强し一人でも多く本島青年が優秀なる皇軍の一員に加はられるやう鍛へ上げて行かうとの決意を持つてゐます、かうして再び臺灣で御奉公させて頂へる機會があるとも思はなかつたが、離臺して三ケ月で早くもこの機會を與へられた以上益々臺灣に骨を埋める覺悟で己れを捨てて御奉公したい所存であります【寫眞は石川大佐】

養豚增殖 競技會

【花蓮港電話】[illegible]初の試みとしての無豚農家一掃と養豚增殖を計る劃期的な花蓮港廳畜産會主催の養豚增殖競技會は各部落選定の五部落づつ十五部落二千四百四十二戸に對し五月一日より十一月末日までの七ケ月間に增殖[illegible]一千六百五十三戸に對し[illegible]百九十二戸の增（十二％）[illegible]五千九百十七頭に對し[illegible]九頭の增（七・四％）を[illegible]農家は七百八十九に對し[illegible]百七十戸無豚農家を一掃したが、決戰下のあらゆる生産部門を乘り越え增殖に勵む農民の意氣が十分窺はれ頼もしい限りである、審査成績左の通り

△一等花蓮郡溪口部落△二等玉里郡第六部落、鳳林郡白川部落△三等玉里郡高里第五部落、玉里郡第十一部落、鳳林郡山崎部落、花蓮郡農林部落

防空卽應の"訓練始式"

臺北消防署、新春行事決る

空襲必至下に開署以來初の新春を迎へる臺北消防署では二十七日午後二時より同會議室に於て署長以下警防係係員、消防部員國語常用挺身隊員出席の下に例年消防組時代の慣例となつてゐた華やかな出初式の行事を廢し緊迫せる戰局下防空必勝態勢下の新春行事として適はしい"訓練始式"に關する打合を行つた結果左の通り實施することに決定した

△訓練始式 四日午前七時を期し本署職員（新舊員を除く）南北警防團消防部、聯合奉公消防挺身隊員（在北者のみ）並機關工場挺身隊員約四五〇名は消防署前廣場に集合、整列の後國民行事、部署事務、器具點檢、ポンプ操法及署長訓示を以て一旦式を閉じ、更に城內は消防署前より總督府に至る間及新公園より臺日に至る[illegible]十六箇所に於る放水訓練に引續き大稻埕太平町大通り並に圓山公園を結ぶ線其の他同じく十六箇所に於て放水訓練を實施、終了後、全員は宮前町消防出張所前に整列し州廳前門を經て總督府前より本署に至る間を分列行進を實施することとなつた

乃木大將母堂墓前祭

臺北市では二十七日午前十時から三橋町の墓前で乃木大將母堂の四十八回忌に當り墓前祭を神式により執行した、[illegible]市長、佐々木文會、川崎社會兩課長、[illegible]氏、[illegible]より水越、池內兩本部理事以下會員多數[illegible]

米英と闘ふ原住民

澎湃・鄕土防衞熱

海軍民政二ケ年の成果

【マカッサル四日發同盟】 畏くも宣戰の大詔を拜してより[illegible]に二年、必死の反攻を試みる敵米英を到る所に破碎、壯烈な血戰死鬪の連續の裡に南方共榮圈各地における建設は大東亞戰爭完遂の一途にその總力を結集して着々進展しつゝある、今こゝに昨年一月九日帝國海軍陸戰隊がマカッサル上陸進駐して以來、約二ケ年に亙る南方海軍民政地域における建設戰の成果を各方面から點檢して見よう

海軍民政の三段階

昨年一月南方海軍占領各地に續成された治安維持會、次いで同三日海軍民政第一聲を擧げた民政部の設置以來、同日までの約二箇年に亙る民政の經過はこれを大きく三つの段階に分つて考へられる、卽ち、第一期は皇軍進駐の日から同年八月南西方面海軍民政府開設までの約七箇月間でこれは原狀回復への準備時代であり、第二期は同八月より本年一月に至る原狀回復時代、第三期は同二月より今日に至る約十箇月間で民政機構の整備擴充時代と見ることが出來よう

△第一期（軍政の礎石）

—戰火の餘燼くすぶる昨年一月蘭印軍の敗退に際して放火破壞しつくした慘たる南方各地主要都市の煉瓦屑と鼻つく惡臭の中に現地建設戰の逞しい槌音が響いた、然しながら蘭印軍が燒却或は隱匿し去つて資料は一つなく、言葉も不自由、衞生狀態も惡い現地での建設工作の辛苦は實に並々ならぬものがあつた、先づ邦人指導下に原住民有識者を以て治安維持會が組織され治安の急速回復維持が圖られたが越えて二月には各地に海軍民政部が開設され[illegible]民政の壓石が置かれたので[illegible]その任命式を擧行、同時にマカッサル市を始め海軍占領各地の主要都市には市役所マカッサルの特別警察隊、ボルネオ、セラムの警察署、警察署が開設され治安は急速に回復を見、原住民達は續々復歸してわが復興工作に協力すると共に地方には民政要員の逐次到着すると共に地方には民政部支部、及び出張所が設置され我が民政の地方滲透と原狀回復準備は着々と整へられたのである

△第二期（原狀回復整備）

[illegible]しく推進……昨年十月多數民政要員の到着と共に八月には海軍民政府が開設された、民政府は總監の下に官房を置き他に總務、財務、[illegible]、交通、土木、衞生及び法務局を設け、夫々主掌事項につき軍政下部機構たる民政部をしてこ[illegible]

△第三期（民政の擴充）

[illegible]從來地方行政[illegible]民政部管下の主要地區に支部又は出張所を設け[illegible]的行政に當らしめて來たが、民政部[illegible]三月南方海軍民政下の各[illegible]州知事の開設を始め[illegible]州を[illegible]

警察機構の整備進む

[illegible]

郷土防

[illegible]

司法制度も充實

[illegible]

皇軍進

駐直後の昨年四[illegible]

熊や虎もお國の爲に

剝製で坊や孃やのお友達に

臺北市動物園空襲に備へ猛獸處分

[illegible]

憧れは無敵荒鷲

征け・本島の少年

臺北兵事部に見る 愛國少年の進軍譜

[illegible]

南溟玉碎勇士に應へる銃後

新竹署に鬪魂燃える獻金つづく

【新竹電話】[illegible]

修學旅行費の一部獻金

【宜蘭】[illegible]

嘉義少年團野外錬成

【嘉義電話】[illegible]

臺北南署 定期召集

[illegible]

油頭のコレラ完全に終熄

[illegible]

（42）

[illegible]

消化不良

便秘に

[illegible]